

脳・AI・ロボットとこれから迎える未来社会科 講義資料

住み続けられるまちづくりを ～大阪府のSDGs推進について～



2022年12月

大阪府 政策企画部 企画室

本日の内容

- ① SDGsについて
- ② 大阪とSDGs
- ③ みんなで取組もうSDGs

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

① SDGsについて

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**



**「SDGs」と聞いて思いつくものを
書き出してみてください（なんでも構いません）**

-
-
-
-
-
-
-

発表タイム

SDGs (Sustainable Development Goals) とは

- 2015年9月国連総会で採択された「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」に記載
- **2030年**までの国際目標。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール(目標)**、**169のターゲット**から構成。



2015年9月25日第70回国連総会で採択

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（抜粋）

前文

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。

我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。

我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち**経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。**

これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、向こう15年間にわたり、行動を促進するものになる。

出典：国際連合広報センターホームページ

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

(出典) 外務省 「持続可能な開発のための2030アジェンダ(仮訳)」

SDGsの17のゴール（5つのP）



- ① **SDGs**は世界共通の言語
- ② 経済、社会、環境の統合的解決
- ③ 誰一人取り残さない
- ④ 横串の視点
- ⑤ バックカスティング
- ⑥ ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

①SDGsは世界共通の言語

<ポイント>

- 国連の全加盟国で合意。「誰も否定できない」明確な価値とゴールの提示。
- 17のゴールのアイコンは世界共通の言語。コミットしている社会課題を世界に宣誓。



②経済、社会、環境の統合による課題解決と新しい価値の創造



<ポイント>

○ 社会課題の併記

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。

(「より良い社会」というより高次のビジョンの提示)

○ 経済的な視点の包摂

「持続可能性」≡「経済性の担保」⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。

(ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容)

③誰一人取り残さない



みんなで頑張る



社会的に弱い立場にある人々を含め、あらゆる人を、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

<ポイント>

○ 野心的（背伸び）

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

○ 支えあいの精神

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（**region**）、国家、地方（**local**）、企業、教育機関、**NPO/NGO**、個人

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

④横串の視点

<ポイント>

- **同時解決**（あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる）



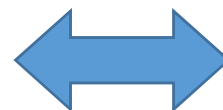
- **インパクトのベクトルを変える**

（社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える）



- **トレードオフの考慮**

（社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する）



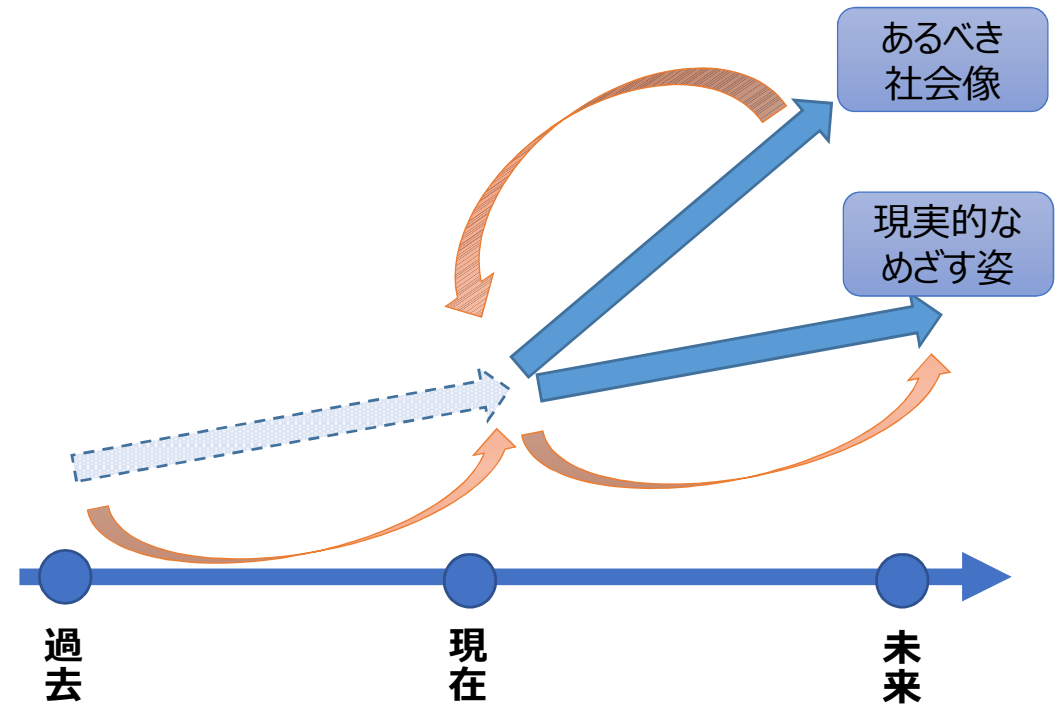
⑤バックキャストिंग

「バックキャストिंग」

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャストिंग」

過去のデータや実績などに基つき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法



<ポイント>

- **社会課題解決のイメージの変革**

義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発

- **できない言い訳をしない**

できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

<ポイント>

- **SDGsは2030年にあるべきゴールのみを提示（⇔京都議定書等）**

例：「リサイクルを心がける」、「困っている人には声をかける」、「健康のために走る」

- **世界の共通目標と、個人や地域の取組みがつながる**

プロジェクトベースで、17ゴール・169のターゲットとのロジックを整理する



② 大阪とSDGs

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

ここで「クイズ」です



大阪府での「SDGs」スタートはいつでしょう

SDGsに関するこれまでの主な経過

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定</p> <p>2020年7月 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案)</p> <p>2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置</p> <p>2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定</p> <p>2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェクト開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置</p> <p>2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・SDGsモデル事業の選定開始</p> <p>2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にてSDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博開催決定</p>

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

◆テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”

◆開催期間：2025年4/13～10/13(184日間)

◆開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

◆入場者（想定）：約2,800万人

◆経済効果：約2兆円



万博会場のイメージ



SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ 誰一人取り残さない
- ◆ 将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

開催時期

2025年

SDGsに関するこれまでの主な経過【再掲】

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定</p> <p>2020年7月 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案)</p> <p>2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置</p> <p>2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定</p> <p>2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェクト開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置</p> <p>2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・SDGsモデル事業の選定開始</p> <p>2018年6月 Japan SDGs Action Platform設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にてSDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博開催決定</p>

「Osaka SDGs ビジョン」策定に向けた有識者ワーキンググループの概要

- 「Osaka SDGs ビジョン」の策定に向け、「大阪がめざすSDGs先進都市の姿」検討有識者ワーキンググループを設置。
- これまで計6回開催。(2019年4月22日、5月27日、6月24日、8月26日、12月4日、2020年3月19日)

《有識者（所属五十音順）》

- 関西大学 社会学部 草郷 教授
- 国際協力機構（JICA）関西センター 西野 所長 ※2020年1月まで
佐藤 所長 ※2020年2月から
- 株式会社日本総合研究所 村上 シニアマネージャー
- 法政大学 デザイン工学部 川久保 准教授
- 吉本興業ホールディングス株式会社 羽根田 SDGs推進本部長

〈これまでのゲストスピーカー〉

- 国連広報センター 根本 センター長
- WHO神戸センター 茅野 医官

《主な議題》

- 全体的な取組みの方向性
- 「めざす姿」を考えるにあたって考慮すべき視点
- SDGs17ゴールに係る府の到達点や課題
- 「中間整理案」について
- 重点ゴールについて
- 「Osaka SDGsビジョン（案）」について



◆2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」

国際社会全体の課題であるジェンダーや人権、気候変動への取り組み

ゴール3
「健康と福祉」



重点
ゴールⅠ

(“いのち”や暮らし、次世代の課題としての取り組み)

ゴール1
「貧困」



ゴール4
「教育」



ゴール12
「持続可能な
生産と消費」



(「ゴール3」と関連する横断的な課題としての取り組み)

ゴール11
「持続可能都市」



重点
ゴールⅡ

(他のゴールを集約しながら、様々な課題解決にバランスよく貢献)

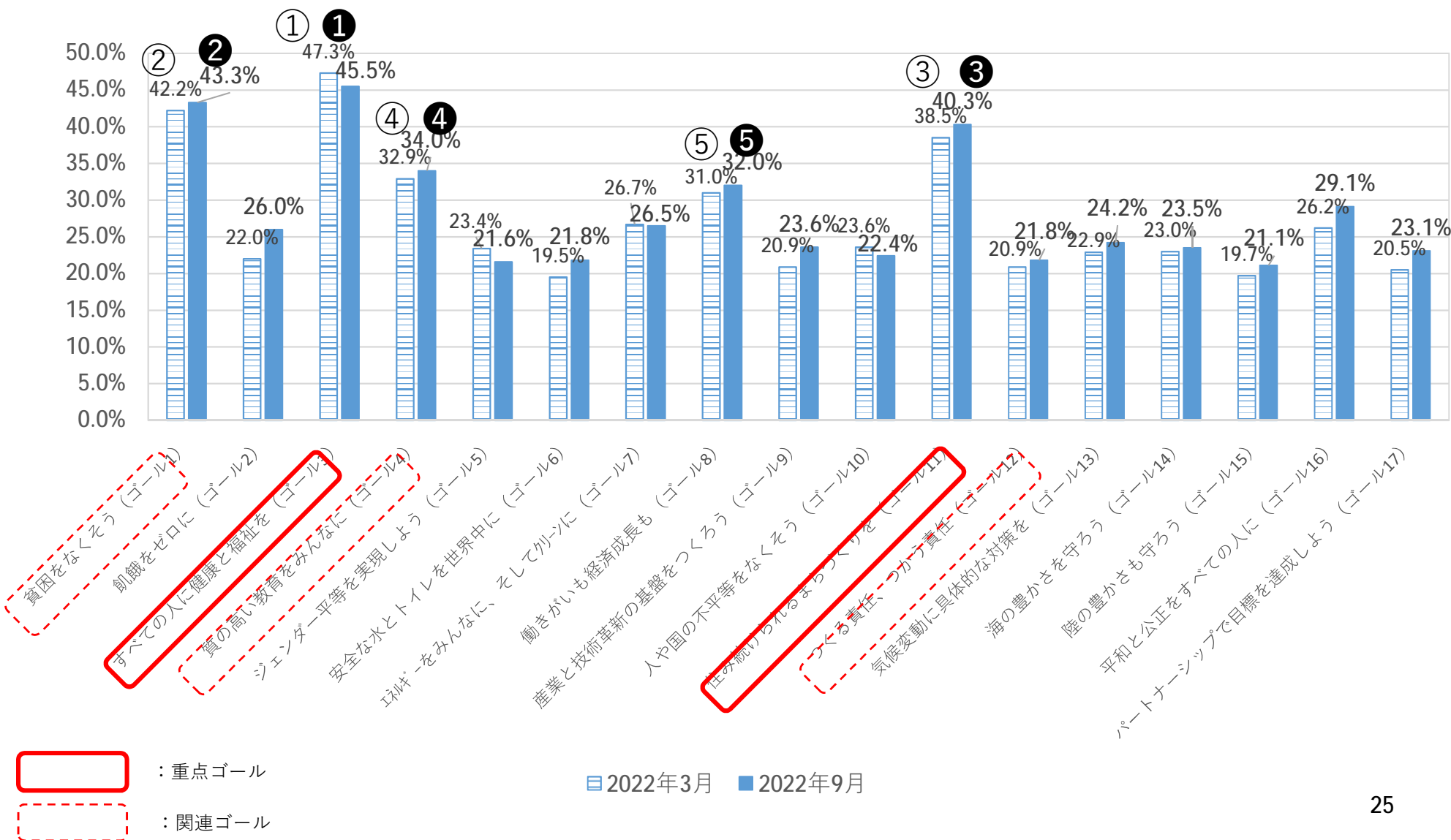
産業や雇用、イノベーションといった都市としての強みを活かす

府民の
well-being

地域（大阪）の
well-being

【参考】SDGs認知度調査（大阪で重要と思うゴール（複数選択可））

○重要だと思う高いゴールの順位は、昨年度と大きな変化は見られず、依然、大阪SDGsビジョンに掲げる重点ゴール3・ゴール11、および関連ゴールのうちゴール1・ゴール4への関心は高い傾向にある。



【参考】ゴール3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

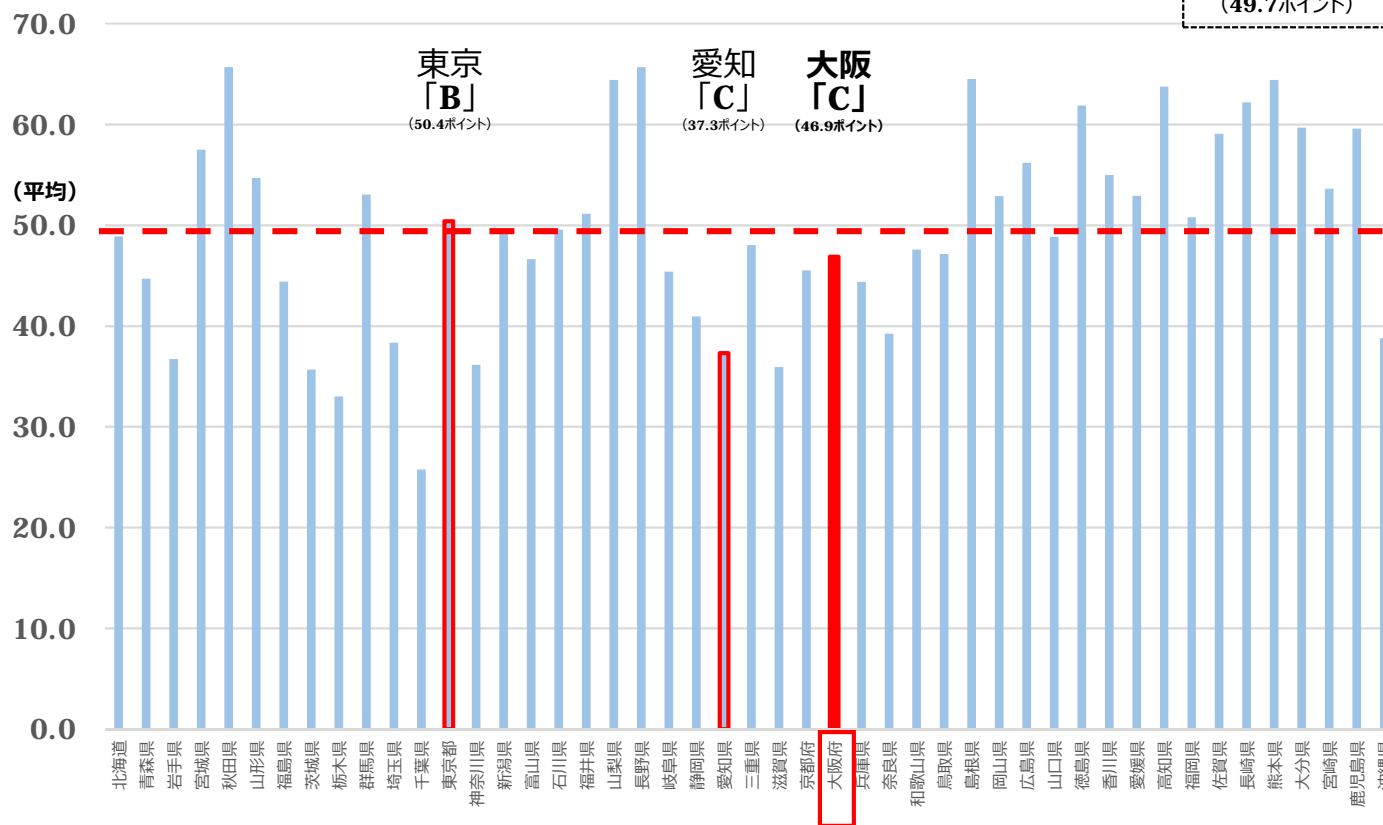
◆ 国際的な日本の評価 「B」

- 「A」 妊産婦死亡率（出生10万人当たり）
- 「A」 新生児死亡率（出生1,000人あたり）
- 「A」 心血管疾患、がんによる年齢別死亡率糖尿病、および30～70歳の人口における慢性呼吸器疾患（人口10万人当たり）
- 「A」 日常喫煙者（15歳以上の人口の割合）
- 「A」 健康寿命（年）
- 「B」 結核発生率（%）
- 「B」 主観的幸福感（平均ラダースコア、0～10）等

達成状況を、A>B>C>Dとして表示。
 カッコ内の矢印は2010年からの進捗状況
 出典：国連持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（2019）



◆ 国内各府県の取組み比較(自治体SDGs指標)



全国平均
(49.7ポイント)

(指数化の概要)
 次の統計データを国内全都道府県・市町村別に集計し、最大値を100、最小値を0とする指数に換算

- (対象指標)
- 妊産婦死亡数
 - 5歳未満児死亡率
 - 新生児死亡率
 - 千人当たりのHIV感染者数
 - 10万人当たりの結核感染者数
 - 千人当たりのマalariaによる死亡者数
 - 10万人当たりのB型肺炎による死亡者数
 - 心血管疾患、癌、糖尿病の死亡率
 - 自殺率
 - 道路交通事故による死亡率
 - 喫煙率
 - 人口当たりの薬局数
 - 人口当たりの一般病院数
 - 人口当たりの医師数

出典：ローカルSDGsプラットフォーム

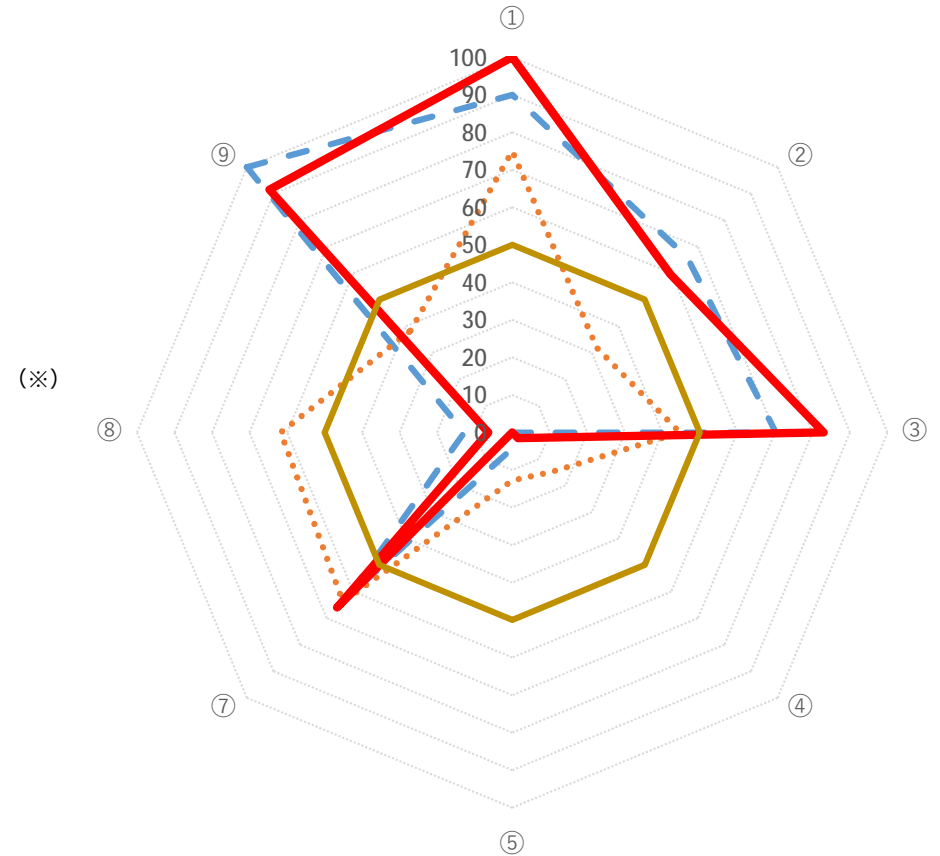
(国内比較の個別指標の分析) 「C」

	個別評価・指標値		
	大阪	東京	愛知
①妊産婦死亡率 (妊産婦死亡数/出産数)	A 100	A 90	B 75
②5歳未満児死亡率 (5歳未満児死亡数/5歳未満人口)	B 59.57	B 65.96	C 31.91
③新生児死亡率 (新生児死亡数/出生数)	A 82.98	B 70.21	C 44.68
④千人当たりのHIV感染者数 (HIV感染者数/人口)	D 2.13	D 0	D 14.89
⑤10万人当たりの結核感染者数 (結核感染者数/人口)	D 0	D 4.26	D 12.77
⑥千人当たりのマラリアによる死亡者数 (マラリアによる死亡者数/人口)	-	-	-
⑦10万人当たりのB型肝炎による死亡者数 (B型肝炎による死亡者数/人口)	B 65.96	B 61.7	B 63.83
⑧心血管疾患、癌、糖尿病の死亡率 (心血管疾患、癌、糖尿病の死亡数/総死亡数)	D 6.38	D 12.77	B 61.7
⑨自殺率 (自殺者数/総死亡数)	A 91.49	A 100	C 38.3
⑩道路交通事故による死亡率 (道路交通事故による死亡者数/総死亡数)	D 10.64	D 6.38	D 21.28
⑪喫煙率 (喫煙数/人口)	C 39.13	B 71.74	B 67.39
⑫人口当たりの薬局数 (薬局数/人口)	C 40.43	B 61.7	D 23.4
⑬人口当たりの一般病院数 (一般病院数/人口)	C 40.43	D 14.89	D 6.38
⑭人口当たりの医師数 (医師数/人口)	B 70.21	A 95.74	D 23.4

指標（スコア）を4段階で表示（100以下「A」、75以下「B」、50以下「C」、25以下「D」）

(※) 突発的な自然災害など外的要因で大きく経年変動する指標や、予算の規模など課題の重要性と値の関係性について判断が困難な指標、データが欠損している指標など

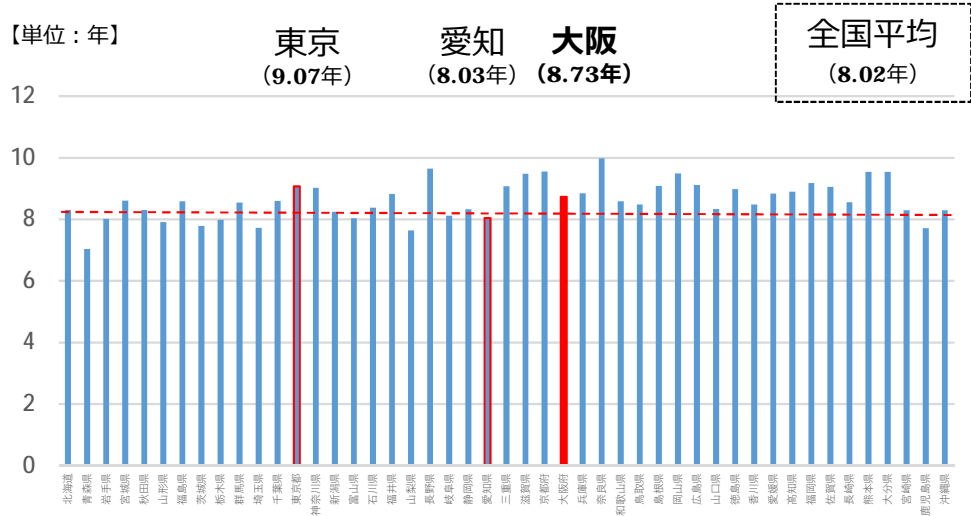
— 東京都 愛知県 — 大阪府 — 平均



統計データを国内全都道府県・市町村別に集計し、最大値を100、最小値を0とする指数に換算

◆ その他、府の施策に関連する主な統計データの国内比較

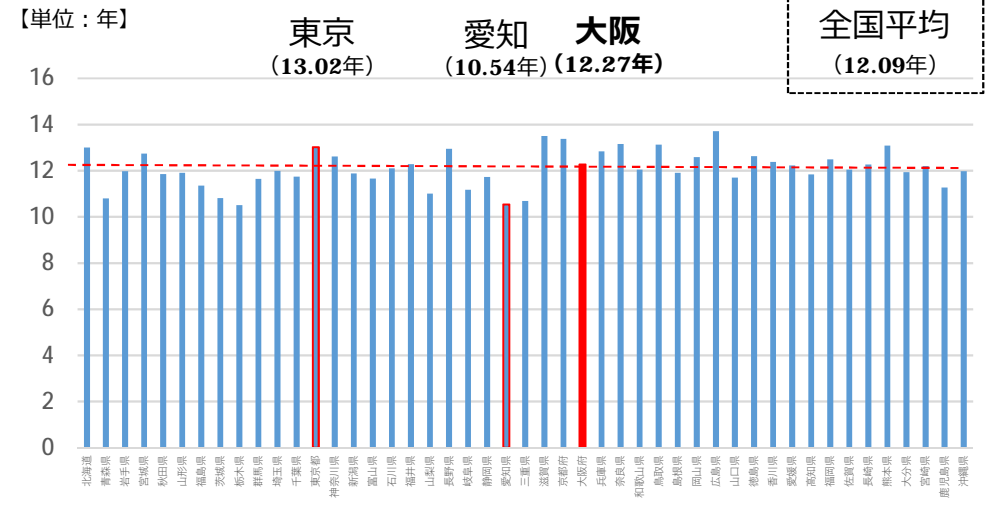
健康寿命と平均寿命の差（男）



※健康寿命は、日常生活に制限のない期間。平均寿命は2015年データ、健康寿命は2016年データ。

出典：厚生労働省「都道府県別生命表」、「科学研究報告書」

健康寿命と平均寿命の差(女)



※健康寿命は、日常生活に制限のない期間。平均寿命は2015年データ、健康寿命は2016年データ。

出典：厚生労働省「都道府県別生命表」、「科学研究報告書」

- 「ゴール3」は、国際的には、全体として改善が認められるゴールであり、個別指標のうち、「妊産婦死亡率」や「新生児死亡率」、「人口10万人あたりの心血管疾患、癌、慢性呼吸器疾患」、「日常喫煙者」、「健康寿命」が高い評価となっている。
- 国内指標においては、大阪は、全体順位が低く、指標スコアも平均より低い。また、「HIV感染者数」や「結核感染者数」、「心血管疾患、癌、糖尿病の死亡率」、「道路交通事故による死亡率」、「喫煙率」、「人口当たりの薬局数」、「人口当たりの一般病院数」など、改善が必要な個別指標の割合が高い。関連指標である「健康寿命と平均寿命の差」も順位が低い状況。
- 「ゴール3」は、府として、今後、特に注力して取組みを進める必要がある。

【参考】ゴール11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

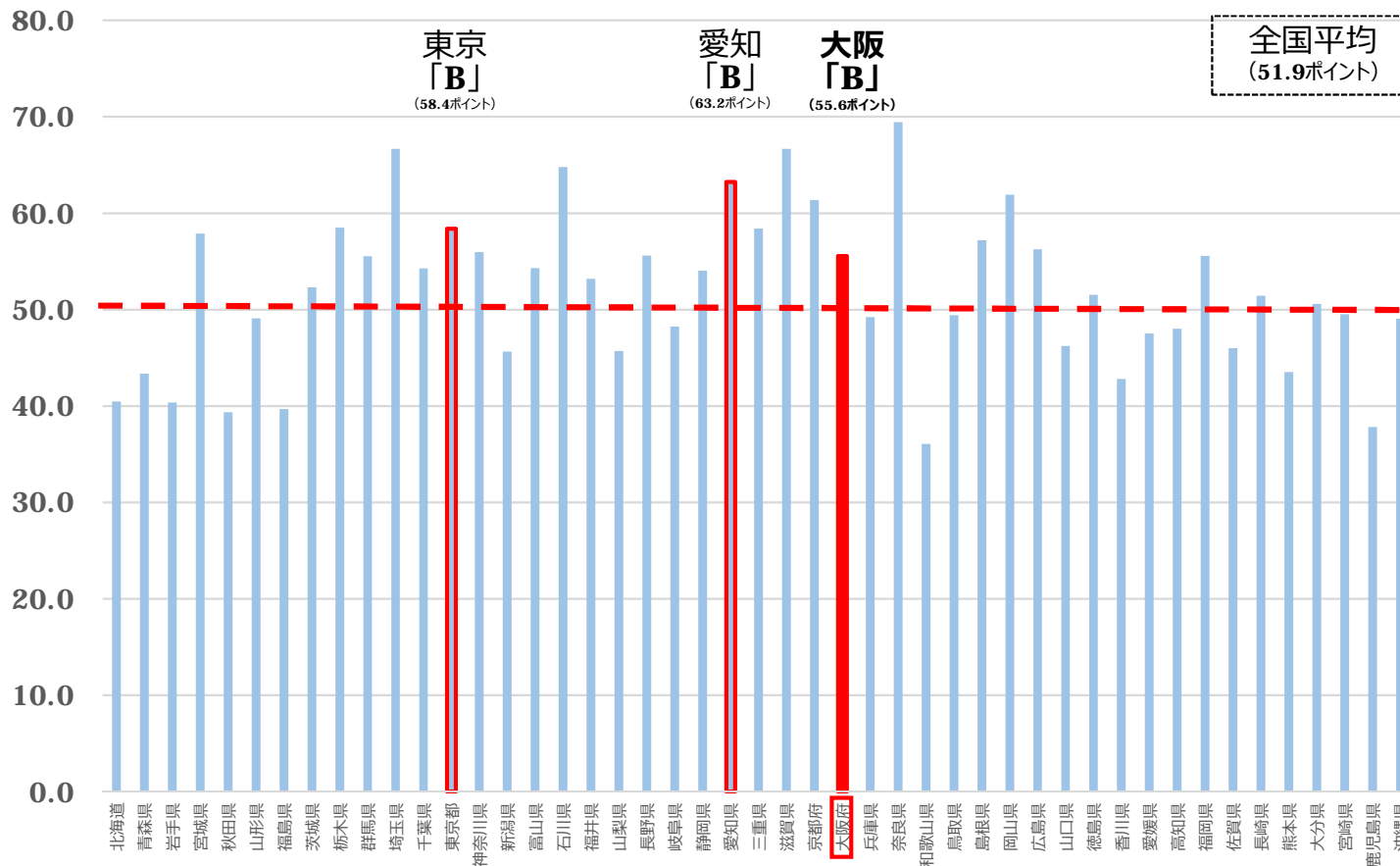
◆国際的な日本の評価 「C」

- 「C」 可処分所得の40%以上の家賃を払っている人の割合 (%)
- 「C」 公共交通機関の満足度 (%)
- 「B」 PM2.5の年平均濃度 (μg/ m³)

達成状況を、A>B>C>Dとして表示。
 カッコ内の矢印は2010年からの進捗状況
 出典：国連持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（2019）



◆国内比較



(指数化の概要)

次の統計データを国内全都道府県・市町村別に集計し、最大値を100、最小値を0とする指数に換算

(対象指標)

- ホームレス割合
- 鉄道・電車・バスの利用割合
- 人口増減
- 人口自然増減
- 人口社会増減
- 市街化調整区域面積割合
- 市街化調整区域内人口割合
- 平均文化財保存事業費
- 災害等の自然外因による死亡者割合
- 災害復旧費割合
- 廃棄物の最終処分割合
- 微小粒子状物質 (PM2.5) 年平均
- 光化学オキシダント (Ox) 濃度の昼間1時間値が 0.12ppm以上であった日数
- 窒素酸化物 (NOx) 年平均値 (ppm)
- 二酸化硫黄 (SO2) 年平均値 (ppm)
- 面積当たりの図書館数、公民館数
- 面積当たりの図書館面積、公民館面積
- 人口当たりの公園数
- 人口当たりの公園面積
- 面積当たりの公園面積
- 人口あたりの性犯罪認知数
- 市街化調整区域内人口割合
- 防災会議を設置している市区町村の割合

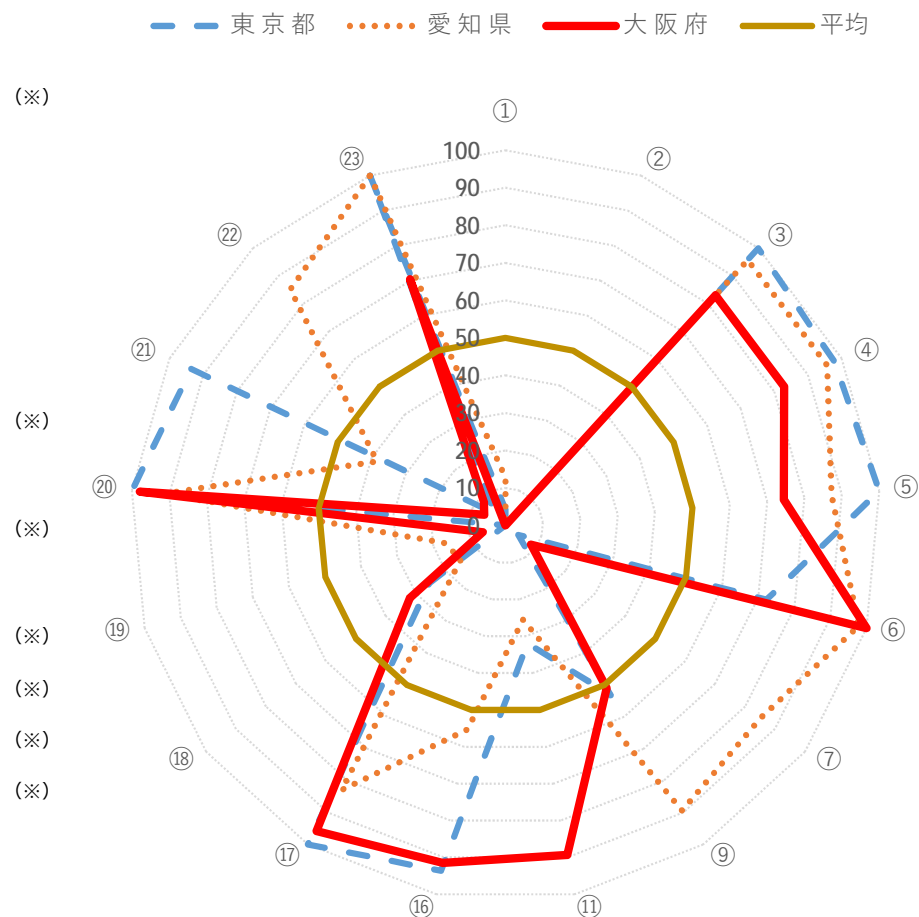
出典：ローカルSDGsプラットフォーム

(国内比較の個別指標の分析)「B」

	個別評価・指標値		
	大阪	東京	愛知
①ホームレス割合 (ホームレスの数/人口)	D 0	D 4.26	D 12.77
②鉄道・電車・バスの利用割合 (15歳以上自宅外通勤・通学者で鉄道・電車・バスを利用している人数/15歳以上自宅外通勤・通学者)	-	-	-
③人口増減 (出生数-死亡数)+(転入数-転出数)/人口)	A 82.98	A 100	A 95.74
④人口自然増減 (出生数-死亡数)/総人口)	A 82.98	A 97.87	A 95.74
⑤人口社会増減 (転入数-転出数)/総人口)	B 74.47	A 100	A 87.23
⑥市街化調整区域面積割合 (市街化調整面積/総面積)	A 100	B 72.34	A 97.87
⑦市街化調整区域内人口割合 (市街化調整区域内人口/総人口)	A 91.49	A 95.74	D 14.89
⑧平均文化財保存事業費 (補助金の交付額)(補助金額/補助金交付件数)	A 97.87	B 57.45	B 63.83
⑨災害等の自然外因による死亡者割合 (災害等の自然外因による死亡者/人口)	B 51.06	B 53.19	A 89.36
⑩災害復旧費割合 (自治体歳出の災害復旧費/全歳出)	D 4.26	D 12.77	D 0
⑪廃棄物の最終処分割合 (最終処分量/ゴミの総排出量)	A 89.36	C 31.91	C 25.53
⑫微小粒子状物質(PM2.5)年平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	-	-	-
⑬光化学オキシダント(Ox)濃度の昼間1時間値が0.12ppm以上であった日数	-	-	-
⑭窒素酸化物(NOx)年平均値(ppm)	-	-	-
⑮二氧化硫(SO2)年平均値(ppm)	-	-	-
⑯面積当たりの図書館数、公民館数 (図書館数+公民館数)/可住地面積)	A 91.49	A 93.62	B 55.32
⑰面積当たりの図書館面積、公民館面積 (図書館延面積+公民館延面積)/可住地面積)	A 95.74	A 100	A 82.98
⑱面積当たりの公園数 (公園箇所数/人口)	C 31.91	C 25.53	D 14.89
⑲人口当たりの公園面積 (公園面積/人口)	D 6.38	D 0	D 17.02
⑳面積当たりの公園面積 (公園面積/可住地面積)	A 97.87	A 100	A 91.49
㉑人口あたりの性犯罪認知数 (性犯罪認知数/人口)	D 6.38	A 93.62	C 38.3
㉒防災会議を設置している市区町村の割合	B 70.37	A 100	A 100

指標(スコア)を4段階で表示(100以下「A」、75以下「B」、50以下「C」、25以下「D」)

(※) 突発的な自然災害など外的要因で大きく経年変動する指標や、予算の規模など課題の重要性と値の関係性について判断が困難な指標、データが欠損している指標など

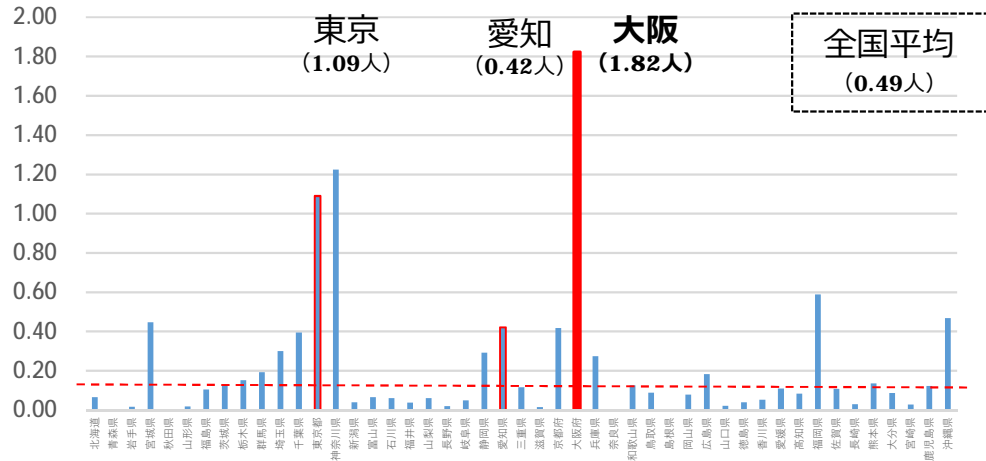


統計データを国内全都道府県・市町村別に集計し、最大値を100、最小値を0とする指数に換算

◆ その他、府の施策に関連する主な統計データの国内比較

1万人あたりのホームレス数

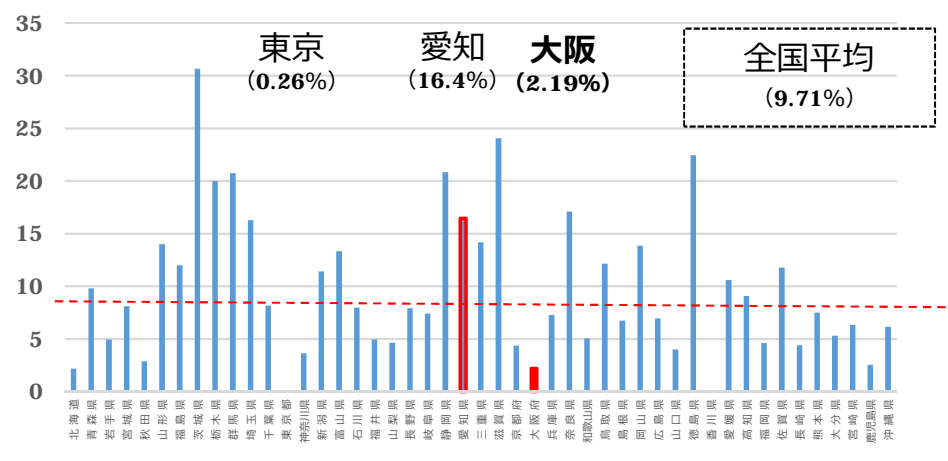
【単位：人】



出典：厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査（2015年）」

市街化調整区域内人口割合 (市街化調整区域内人口/総人口)

【単位：%】



出典：国土交通省「平成27年度 都市計画現況調査」

- 「ゴール11」は、国際的には、全体として改善が必要とされるゴールであり、個別指標については、「可処分所得の40%以上の家賃を払っている人の割合」、「公共交通機関の満足度」で厳しい評価となっている。
- 国内比較においては、大阪は、全体順位が高く、指標スコアも平均より高い。また、「人口増減」や「市街化調整区域の面積割合」、「廃棄物の最終処理割合」、「面積当たりの図書館数、公民館数」など、順調に取り組んでいる個別指標の割合が高い。関連指標については、「1万人当たりホームレス数」の順位は低く、「市街化調整区域内の人口割合」も順位が高い。
- 「ゴール11」は、府として、引き続き、継続的な取り組みを進めていく。（他の全てのゴールを包摂するゴールとして注力する）

(1) 一般府民向け調査

<実施概要>

(インターネットアンケート(民間会社を通じて実施))

- 対象：大阪府民**1,000**人(18歳~90歳)
- 実施期間：**2019年10月29日**

◆主な調査事項

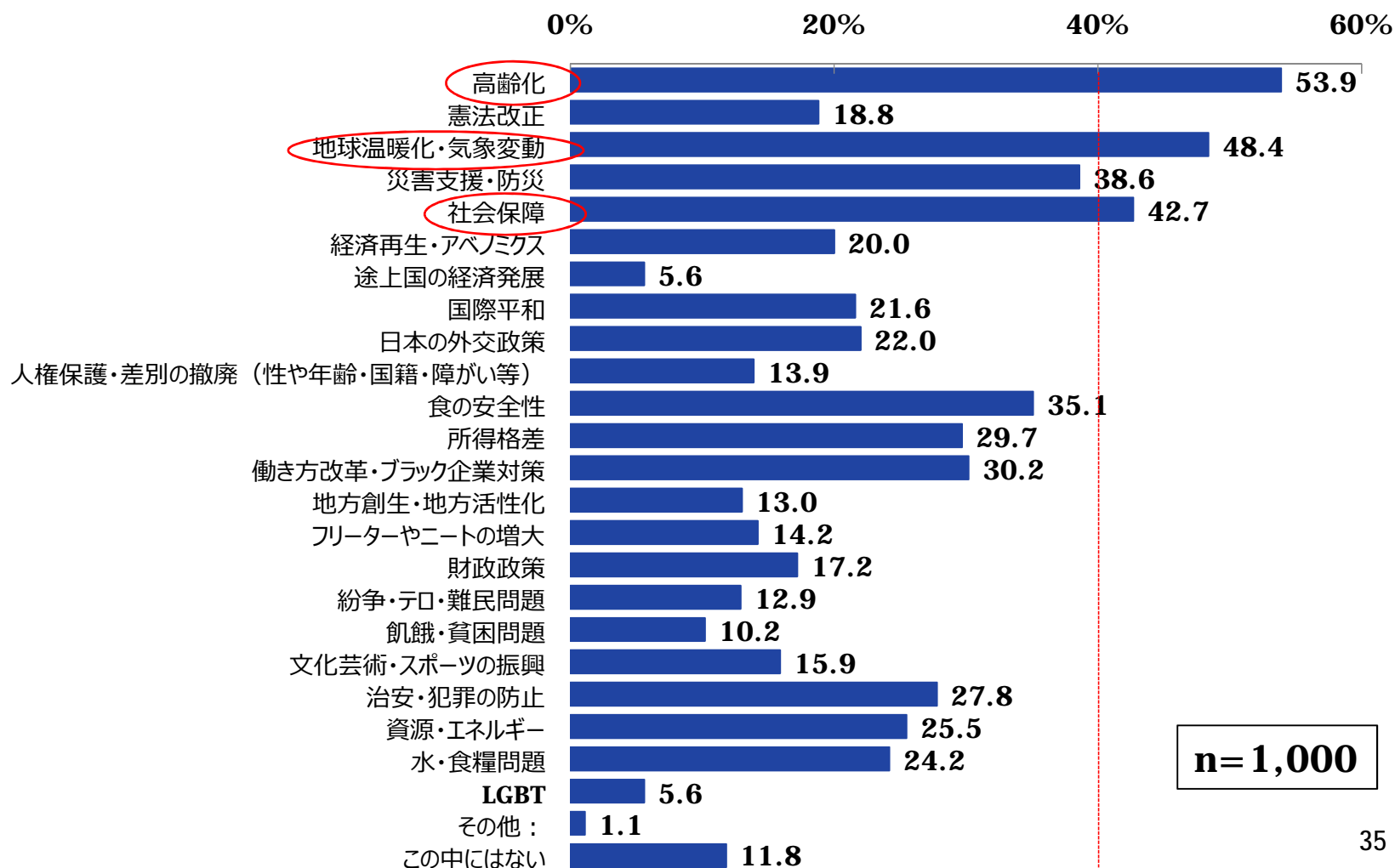
- ① 関心のある社会課題、時事問題
- ② 社会問題、環境問題に関する認識
- ③ **SDGs**の認知度
- ④ 大阪で**SDGs**社会を実現するために重要と考えるゴール
- ⑤ **SDGs**の達成や社会課題の解決に向け、行動すべきステークホルダー
- ⑥ 日常生活で実践していること

【参考】一般府民向け調査

◆関心のある社会課題・時事問題

○社会課題として、「高齢化」、「地球温暖化・気象変動」、「社会保障」に対する関心が高い。

Qあなたが関心のある社会課題・時事問題について、次の中からあてはまるものをすべて選択してください。

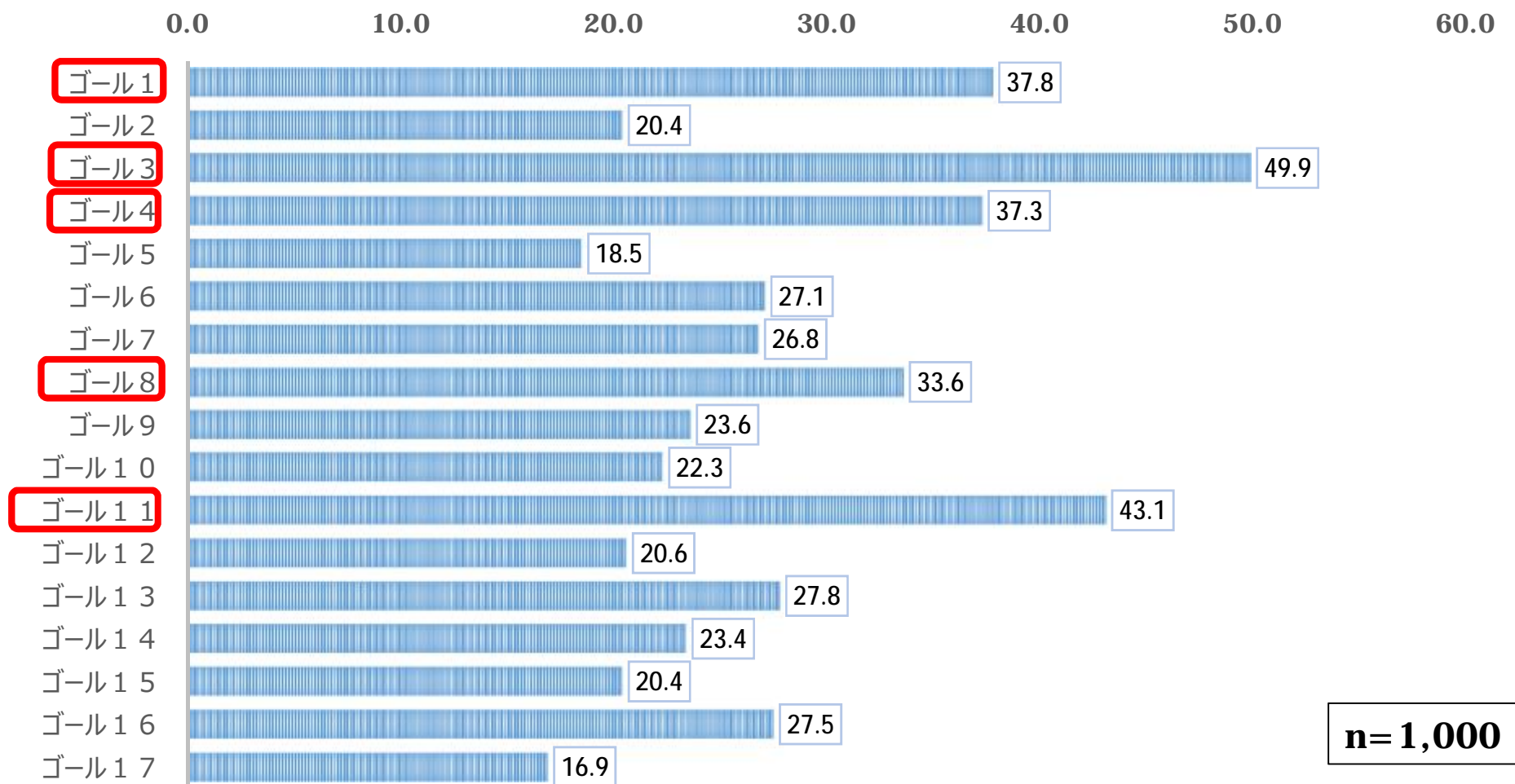


【参考】一般府民向け調査

◆大阪でSDGs社会を実現するために重要と考えるゴール

- 「ゴール3（健康）」、「ゴール11（持続可能都市）」、「ゴール1（貧困）」、「ゴール4（教育）」、「ゴール8（経済成長・雇用）」が多い。

Q.SDGs17のゴールのうち、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために大阪で重要なゴールは何だと考えますか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。



【参考】日本のSDGsの達成状況（世界との比較）

2019年

順位	国名	スコア
1	デンマーク	85.2
2	スウェーデン	85.0
3	フィンランド	82.8
4	フランス	81.5
5	オーストリア	81.1
6	ドイツ	81.1
7	チェコ	80.7
8	ノルウェー	80.7
9	オランダ	80.4
10	エストニア	80.2
11	ニュージーランド	79.5
12	スロベニア	79.4
13	イギリス	79.4
14	アイルランド	79.2
15	日本	78.9
16	ベルギー	78.9
17	スイス	78.8
18	韓国	78.3
19	アイルランド	78.2
20	カナダ	77.9

2020年

順位	国名	スコア
1	スウェーデン	84.7
2	デンマーク	84.6
3	フィンランド	83.8
4	フランス	81.1
5	ドイツ	80.8
6	ノルウェー	80.8
7	オーストリア	80.7
8	チェコ	80.6
9	オランダ	80.4
10	エストニア	80.1
11	ベルギー	80.0
12	スロバキア	79.8
13	イギリス	79.8
14	アイルランド	79.4
15	スイス	79.4
16	ニュージーランド	79.2
17	日本	79.2
18	ベラルーシ	78.8
19	クロアチア	78.4
20	韓国	78.3

2021年

順位	国名	スコア
1	フィンランド	85.9
2	スウェーデン	85.6
3	デンマーク	84.9
4	ドイツ	82.5
5	ベルギー	82.2
6	オーストリア	82.1
7	ノルウェー	82.0
8	フランス	81.7
9	スロベニア	81.6
10	エストニア	81.6
11	オランダ	81.6
12	チェコ	81.4
13	アイルランド	81.0
14	クロアチア	80.4
15	ポーランド	80.2
16	スイス	80.1
17	イギリス	80.0
18	日本	79.8
19	スロバキア	79.6
20	スペイン	79.5

2022年

順位	国名	スコア
1	フィンランド	86.5
2	デンマーク	85.6
3	スウェーデン	85.2
4	ノルウェー	82.3
5	オーストリア	82.3
6	ドイツ	82.2
7	フランス	81.2
8	スイス	80.8
9	アイルランド	80.7
10	エストニア	80.6
11	イギリス	80.6
12	ポーランド	80.5
13	チェコ	80.5
14	ラトビア	80.3
15	スロバキア	80.0
16	スペイン	79.9
17	オランダ	79.9
18	ベルギー	79.7
19	日本	79.6
20	ポルトガル	79.2

【参考】日本のSDGsスコア

JAPAN

OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING

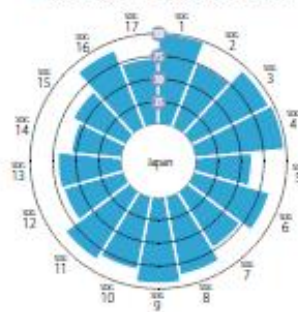
JAPAN
19 / 163

COUNTRY SCORE



REGIONAL AVERAGE: 77.2

AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



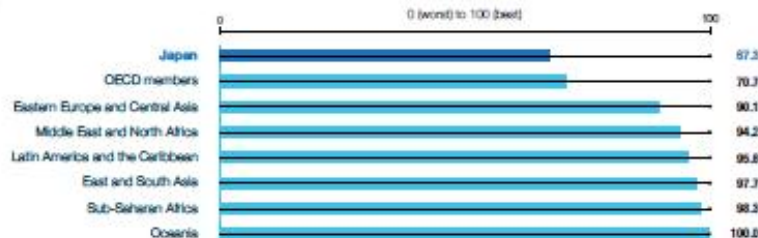
SDG DASHBOARDS AND TRENDS



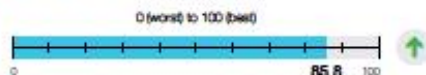
Major challenges: Decreasing, Significant challenges: Suggesting, Challenges remain: Wobblingly improving, SDG achieved: Up track or maintaining SDG achievement, Information unavailable: Information unavailable

Note: The full title of each SDG is available here: <https://sustainabledevelopment.un.org/topics/sustainabledevelopmentgoals>

INTERNATIONAL SPILLOVER INDEX



STATISTICAL PERFORMANCE INDEX



MISSING DATA IN SDG INDEX

3%

JAPAN

Performance by Indicator

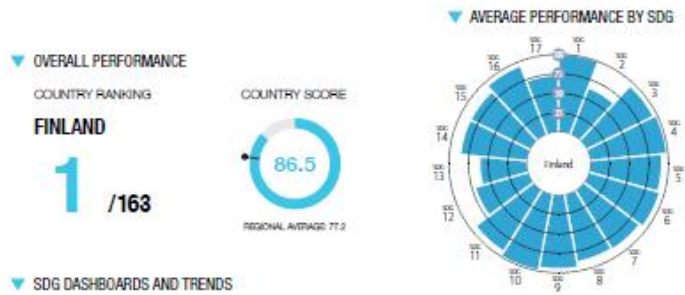
Indicator	Value	Year	Trend	Indicator	Value	Year	Trend
SDG1 – No Poverty				SDG9 – Industry, Innovation and Infrastructure			
Poverty headcount ratio at \$1.90/day (%)	54	2022	↑	Population using the internet (%)	90.2	2020	↑
Poverty headcount ratio at \$3.20/day (%)	85	2022	↑	Mobile broadband subscriptions (per 100 population)	203.0	2019	↑
Poverty rate after taxes and transfers (%)	17	2018	↓	Logistics Performance Index: Quality of trade and transport related infrastructure (score 1–5 best)	4.2	2018	↑
SDG2 – Zero Hunger				the Times Higher Education University Ranking: Average score of top 3 universities (score 0–100 best)	65.9	2022	↑
Prevalence of undernourishment (%)	25	2019	↑	Articles published in academic journals (per 1,000 population)	1.0	2020	↑
Prevalence of stunting in children under 5 years of age (%)	7.1	2010	↓	Expenditure on research and development (% of GDP)	3.3	2018	↑
Prevalence of wasting in children under 5 years of age (%)	2.3	2010	↓	Researchers (per 1,000 employed population)	9.8	2019	↑
Prevalence of obesity, BMI > 30 (% of adult population)	4.3	2016	↓	Trade patent families filed (per million population)	139.5	2019	↑
Human Topics Level (best 2–7 worst)	2.4	2017	↓	Gap in internet access by income (percentage points)	NA	NA	↑
Cereal yield (tonnes per hectare of harvested land)	5.0	2018	↓	Female share of graduates from STEM fields at the tertiary level (%)	NA	NA	↑
Sustainable Nitrogen Management Index (best 0–141 worst)	96	2015	↓	SDG10 – Reduced Inequalities			
Yield gap closure (% of potential yield)	NA	NA	↑	Gini coefficient	32.9	2013	↑
Exports of hazardous pesticides (tonnes per million population)	36.1	2019	↑	Palm ratio	1.3	2018	↑
SDG3 – Good Health and Well-Being				Elderly poverty rate (% of population aged 64 or over)	20.0	2018	↑
Maternal mortality rate (per 100,000 live births)	5	2017	↑	SDG11 – Sustainable Cities and Communities			
Neonatal mortality rate (per 1,000 live births)	0.8	2020	↑	Proportion of urban population living in slums (%)	0.0	2018	↑
Mortality rate, under-5 (per 1,000 live births)	25	2020	↑	Annual mean concentration of particulate matter of less than 2.5 microns in diameter (PM2.5) (µg/m³)	11.0	2016	↑
Incidence of tuberculosis (per 100,000 population)	120	2020	↓	Access to improved water source, piped (% of urban population)	NA	NA	↑
New HIV infections (per 1,000 uninfected population)	0.0	2020	↑	Satisfaction with public transport (%)	62.0	2017	↑
Age-standardized death rate due to cardiovascular disease, cancer, diabetes, or chronic respiratory disease in adults aged 30–85 years (%)	83	2019	↑	Population with rent burden (%)	9.0	2018	↓
Age-standardized death rate attributable to household air pollution and ambient air pollution (per 100,000 population)	17	2016	↓	SDG12 – Responsible Consumption and Production			
Traffic deaths (per 100,000 population)	16	2019	↑	Electronic waste (kg/capita)	20.4	2019	↑
Life expectancy at birth (years)	84.3	2019	↑	Production-based CO ₂ emissions (kg/capita)	12.3	2018	↑
Adolescent fertility rate (births per 1,000 females aged 15 to 19)	1.1	2018	↑	CO ₂ emissions embodied in imports (kg/capita)	5.3	2018	↑
Births attended by skilled health personnel (%)	96.9	2018	↑	Production-based nitrogen emissions (kg/capita)	2.0	2015	↑
Surviving infants who received 2 WHO-recommended vaccines (%)	96	2020	↑	Nitrogen emissions embodied in imports (kg/capita)	14.1	2015	↓
Universal health coverage (UHC) index of service coverage (score 0–100 best)	85	2019	↑	Exports of plastic waste (kg/capita)	8.2	2021	↑
Subjective well-being (average ladder score, worst 0–10 best)	8.1	2021	↑	Non recycled municipal solid waste (kg/capita/day)	0.2	2018	↑
Gap in life expectancy at birth among regions (years)	2.3	2021	↑	SDG13 – Climate Action			
Gap in self-reported health status by income (percentage points)	12.3	2019	↑	CO ₂ emissions from fossil fuel combustion and cement production (kt/capita)	0.3	2020	↑
Daily smokers (% of population aged 15 and over)	16.7	2019	↑	CO ₂ emissions embodied in imports (kt/capita)	1.7	2018	↑
SDG4 – Quality Education				CO ₂ emissions embodied in fossil fuel exports (kg/capita)	0.4	2021	↑
Participation rate in pre-primary organized learning (% of children aged 4 to 6)	NA	NA	↑	Carbon Pricing Score at EURO2/CO ₂ (€, worst 0–100 best)	24.0	2018	↓
Net primary enrollment rate (%)	019	2019	↑	SDG14 – Life Below Water			
Lower secondary completion rate (%)	100.0	2019	↑	Mean area that is protected in marine sites important to biodiversity (%)	6.71	2020	↓
Literacy rate (% of population aged 15 to 24)	NA	NA	↑	Ocean Health Index: Clean Waters score (score 0–100 best)	59.4	2020	↓
Tertiary educational attainment (% of population aged 25 to 34)	62.5	2019	↑	Fish caught from overexploited or collapsed stocks (% of total catch)	20.0	2018	↑
PISA score (score 0–600 best)	520.0	2018	↑	Fish caught by trawling or dredging (%)	20.4	2018	↑
Variation in science performance explained by socio-economic status (%)	7.7	2018	↑	Fish caught that are then discarded (%)	10.3	2018	↑
Underachievers in science (% of 15-year-olds)	10.0	2018	↑	Marine biodiversity threats embodied in imports (per million population)	1.0	2018	↑
SDG5 – Gender Equality				SDG15 – Life on Land			
Demand for family planning satisfied by modern methods (% of females aged 15 to 49)	67.0	2022	↑	Mean area that is protected in terrestrial sites important to biodiversity (%)	0.3	2020	↓
Ratio of female to male mean years of education received (%)	104.0	2019	↑	Mean area that is protected in freshwater sites important to biodiversity (%)	54.4	2020	↓
Ratio of female to male labor force participation rate (%)	74.5	2020	↑	Red list index of species survival (score 0–1 best)	0.8	2021	↓
Seats held by women in national parliaments (%)	99	2020	↓	Permanent deforestation (% of forest area, 5-year average)	0.0	2020	↑
Gender wage gap (% of male median wage)	22.5	2020	↓	Terrestrial and freshwater biodiversity threats embodied in imports (per million population)	5.1	2018	↑
SDG6 – Clean Water and Sanitation				SDG16 – Peace, Justice and Strong Institutions			
Population using at least basic drinking water services (%)	99.1	2020	↑	Homicides (per 100,000 population)	0.3	2019	↑
Population using at least basic sanitation services (%)	96.9	2020	↑	Unintentional deaths (% of prison population)	1.2	2016	↑
Freshwater withdrawal (% of available freshwater resources)	36.5	2018	↑	Population who feel safe walking alone at night in the city or area where they live (%)	76	2021	↑
Anthropogenic wastewater that receives treatment (%)	75.3	2018	↑	Property Rights (score 1–7 best)	6.2	2020	↑
Scarcy water consumption embodied in imports (m³ H ₂ O/capita)	1037.4	2018	↑	Birth registrations with civil authority (% of children under age 5)	100.0	2020	↑
Population using safely managed sanitation services (%)	98.6	2020	↑	Corruption Perception Index (score 0–100 best)	71	2021	↑
Population using safely managed sanitation services (%)	87.4	2020	↑	Children involved in child labor (% of population aged 5 to 14)	0.0	2016	↑
SDG7 – Affordable and Clean Energy				Exports of major conventional weapons (TIV constant million USD per 100,000 population)	0.0	2020	↑
Population with access to electricity (%)	100.0	2019	↑	Press freedom index (best 0–100 worst)	28.0	2021	↑
Population with access to clean fuels and technology for cooking (%)	100.0	2019	↑	Access to and affordability of justice (score 0–1 best)	0.7	2020	↑
CO ₂ emissions from fuel combustion per total electricity output (MCO ₂ /TWh)	1.1	2019	↓	Prisoners held in prison (per 100,000 population)	38.2	2016	↑
Share of renewable energy in total primary energy supply (%)	6.3	2019	↓	SDG17 – Partnerships for the Goals			
SDG8 – Decent Work and Economic Growth				Government spending on health and education (% of GDP)	12.4	2016	↑
Adjusted GDP growth (%)	-1.7	2020	↓	For high income and all OECD DAC countries: International concessional public finance (including official development assistance) (% of GDP)	0.3	2021	↑
Victims of modern slavery (per 1,000 population)	0.3	2018	↑	Other countries: Government revenue excluding grants (% of GDP)	NA	NA	↑
Adults with an account at a bank or other financial institution or with a mobile money service provider (% of population aged 15 or over)	98.2	2017	↑	Corporate Tax Haven Score (best 0–100 worst)	0.0	2019	↑
Fundamental labor rights are effectively guaranteed (score 0–1 best)	0.0	2020	↑	Financial Secrecy Score (best 0–100 worst)	62.0	2020	↑
Total work-related accidents embodied in imports (per 100,000 population)	1.0	2015	↑	Skilled profits of multinationals (US\$ billion)	17.3	2018	↑
Employment to population ratio (%)	77.8	2021	↑	Statistical Performance Index (score 0–100 best)	85.8	2019	↑
Youth not in employment, education or training (NEET) (% of population aged 15 to 24)	9.8	2014	↓				

* Required data point

【参考】上位国のSDGsスコア

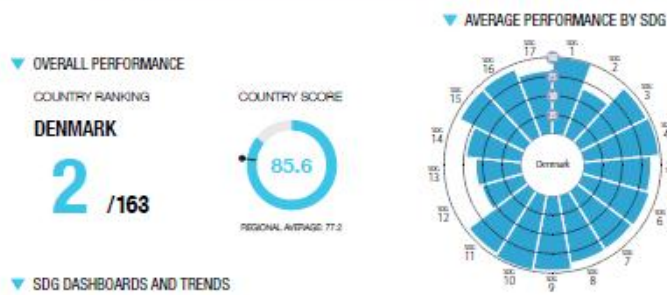
FINLAND

OECD Countries



DENMARK

OECD Countries



SWEDEN

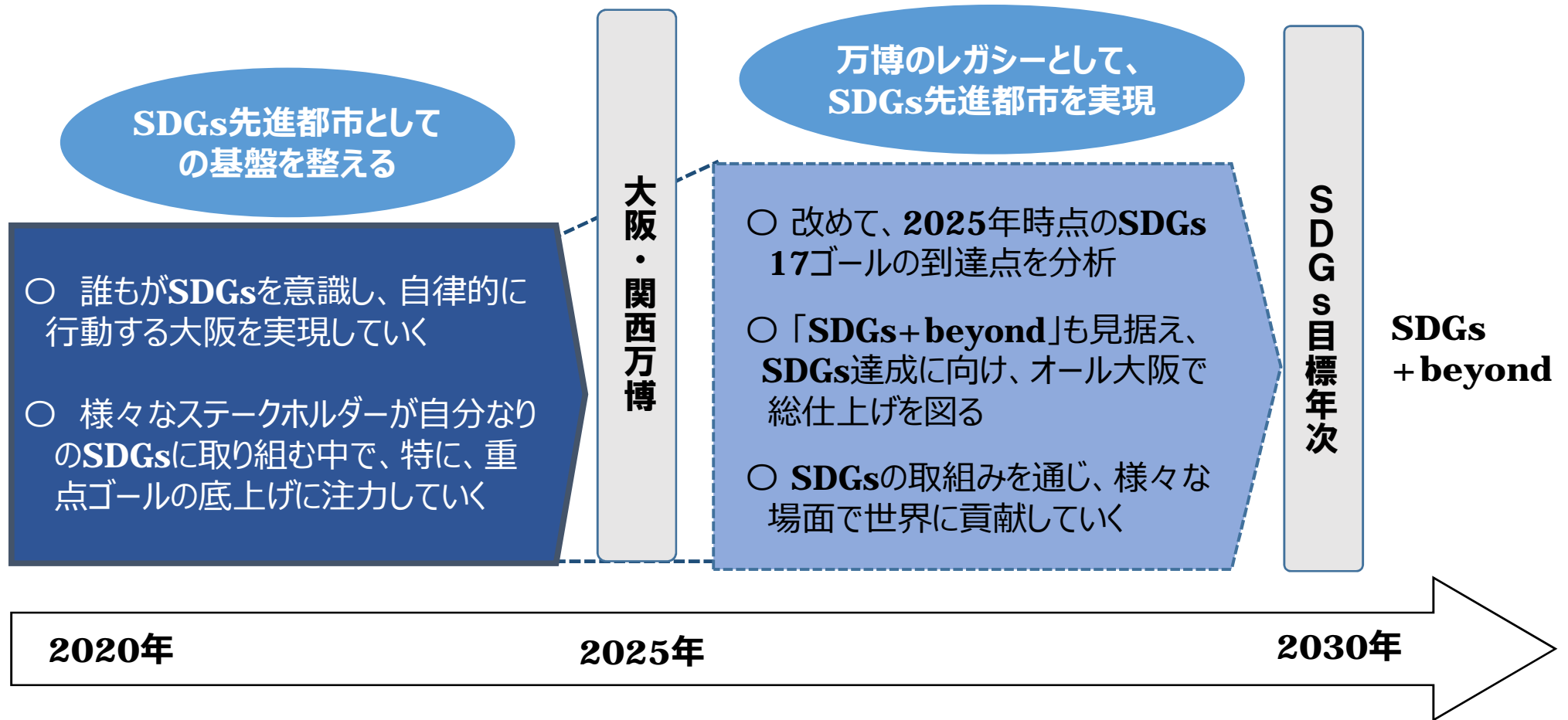
OECD Countries



出典：「SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2022」

Osaka SDGs ビジョン（2030年までの取組工程）

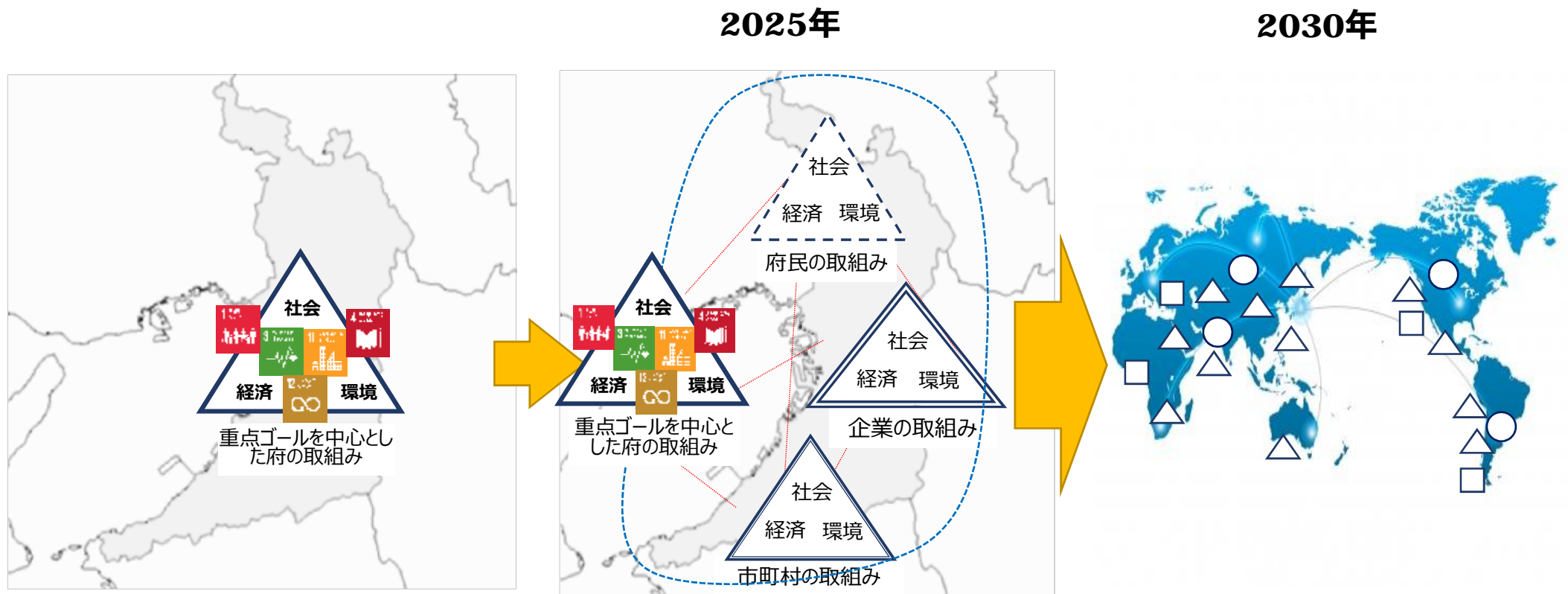
- 万博に向け、「SDGs先進都市」としての基盤を整え、2030年のSDGs目標年次に向けた総仕上げを図る中で、万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現する。



Osaka SDGs ビジョン (SDGs先進都市をめざして)

SDGs先進都市 = 誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的に17のSDGs全ての達成をめざしていくこと

→様々なステークホルダーが連携・協調し、「大阪」がSDGsを体現したまちを発信していく



万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する

「Osaka SDGs ビジョン」に掲げる大阪府の役割

大阪府の役割

- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**
⇒ **SDGsの更なる浸透**を図り、これまでに**SDGsになじみのなかった新たなステークホルダーの掘り起こし**や具体的な行動につなげる

- ② 様々なステークホルダーの取組みを**SDGs実現に向けて相互につなぎ合わせていく**
⇒ **関西SDGsプラットフォームや国関連機関、経済界、金融機関などと連携**し、それぞれのネットワークを活かしながら、ステークホルダー間の**マッチングと新たな取組みの創出**を図る

- ③ **府自らも**ステークホルダーの一員として、**SDGsに貢献**する
⇒ 庁内各部局の**主体的な取組みの更なる充実・強化**を図り、**SDGsとして取り組むからこそできる**施策を幅広く展開していく

- ④ ハード・ソフト両面から**「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**
⇒ 大阪の持続的成長や、府民の豊かさ、安全・安心の実現に向け、**SDGsの理念に沿った社会システムや価値観の変革**を進める

SDGsに関するこれまでの主な経過【再掲】

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部 設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定</p> <p>2020年7月 SDGs未来都市及び自治体 SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案)</p> <p>2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置</p> <p>2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定</p> <p>2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェクト 開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置</p> <p>2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・ SDGsモデル事業の選定開始</p> <p>2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にて SDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博 開催決定</p>

SDGs未来都市とは

国が「SDGsモデル」の構築に向け、地方公共団体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として選定

⇒大阪府は、2020年に大阪市と共同提案し、「SDGs未来都市」に選定されました

（※都道府県と市町村の共同提案の選定は全国初の事例です）

提案タイトル

2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて

SDGs未来都市 計画概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる大阪・関西万博の開催都市として、行政だけでなく、府民や企業、市町村、金融機関、経済界などあらゆるステークホルダーとの連携を広げつつ、2030年のあるべき姿に向け、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGs先進都市」の実現をめざす。

大阪府・大阪市SDGs未来都市計画（モデル事業）

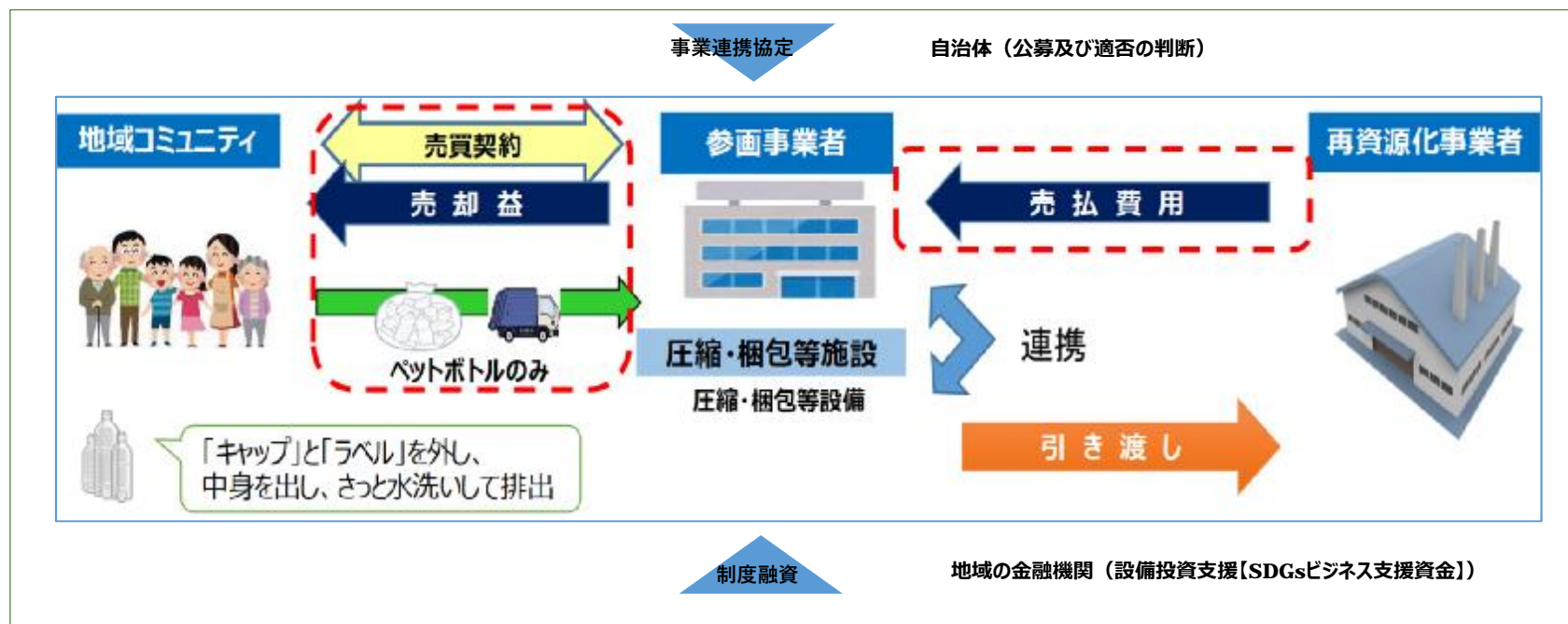
モデル事業の取組概要（大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクト）

日本で初めて開催された「G20サミット」（G20大阪サミット）の象徴的レガシーである「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（※）」を先導する取組みとして、プラスチックごみ問題解決に向け、経済、社会、環境の三側面から、3R（リデュース、リユース、リサイクル）などの普及啓発や、海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収などを府域全体で幅広く実施する。

（※）2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす世界共通のビジョン

◇「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業

（主な取組み例）「新たな」ペットボトル回収・リサイクルシステム」事業スキーム



その他の取組み例（大阪ええまちプロジェクト）

ゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール1-1「住み続けられるまちづくりを」の実現をめざし、高齢者の家事援助、居場所づくり、外出支援等に取り組んでいる地域貢献団体の活動拡充に向けた支援を実施しています。

令和3年度の主な取組み事例

※以下の事例を含む**13**の地域貢献団体を支援

○担い手不足といった地域コミュニティの課題に対して、地縁によらないボランティア（プロボノ）の協力により支援を実施



（支援事例）

・認知症の人と地域の人が共に楽しみ、活躍できる場の創出や活動を実施する団体が運営・企画する「いのち輝く折り鶴**100**万羽プロジェクト※」（※全国の認知症の人と地域の人が共に楽しみながら折り鶴を作ることにより一人ひとりのいのちの輝きと、人と人とのつながりの見える化を図るプロジェクト）の事業計画資料や、高齢者や障がい者等への配食サービスを実施する団体の活動を広く知ってもらうための**WEB**サイトの作成などの支援を、プロボノの協力を得て実施した。

○大交流会の開催（**R4.2.25～26**）

府内全域で上記のような助け合いの取組みを展開するため、これから取り組みを行いたい団体等に対し、既に当プロジェクトで支援を行った団体から活動の内容や課題解決のためのノウハウ等の情報提供を行った。

その他の取組み例（OSAKA SDGsビジネスマッチング）

概要：SDGsビジネスに挑戦する企業と「OSAKA SDGs共創パートナー」とのビジネスマッチング、商談会

対象：SDGsビジネスに取り組んでいる、または取り組みを検討している企業

R3年度登壇企業：30社（第1回：8社、第2回：9社、第3回：13社）

※「OSAKA SDGs共創パートナー」

技術や資金等を持つ企業、金融機関、投資家、大学など産学官金のパートナーシップによるサポート基盤（28社・団体／2022.2.28時点）

OSAKA SDGsビジネスマッチング

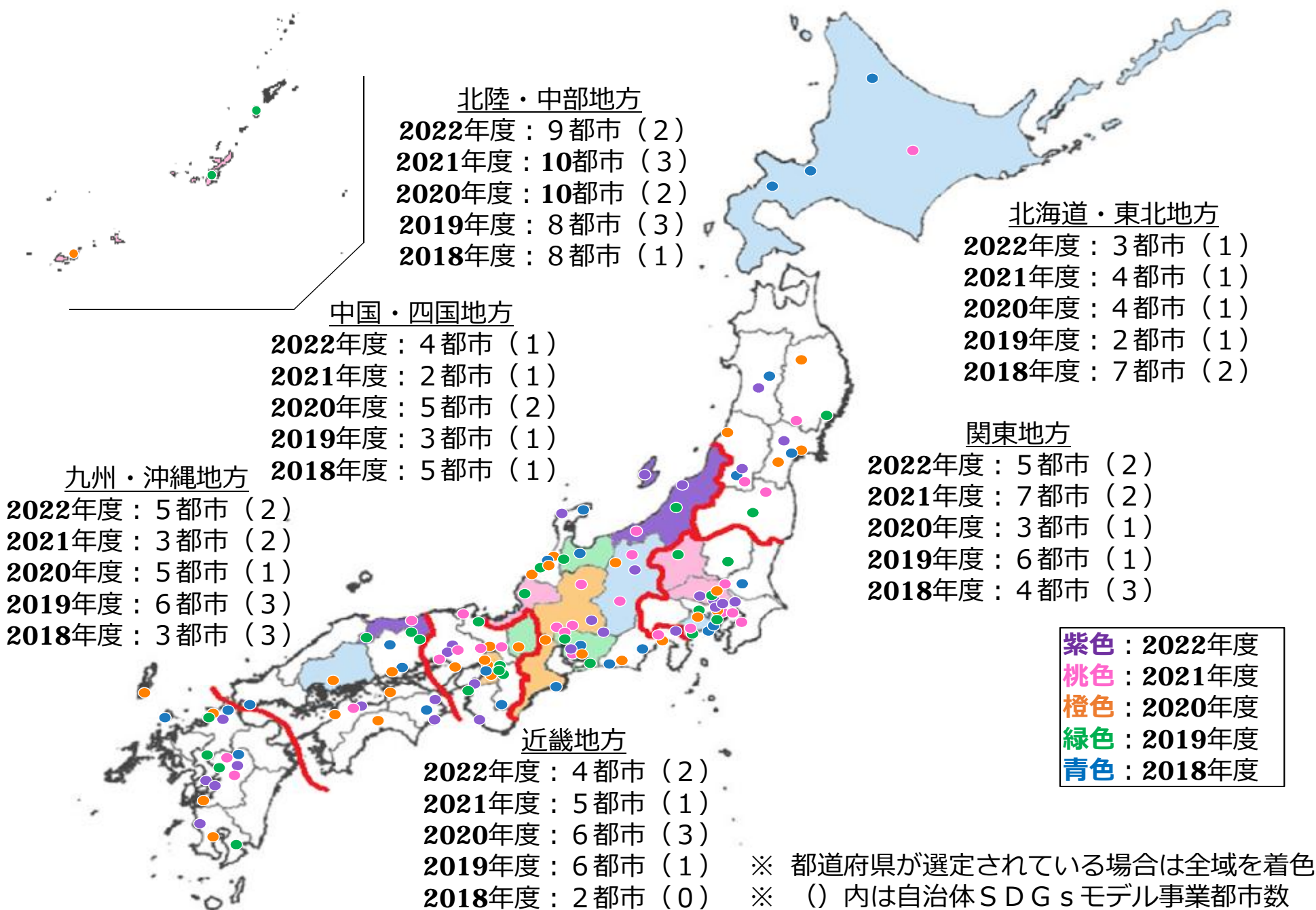
“共創”で切り拓くOSAKAと世界の未来

～SDGsを起点としたビジネスへの挑戦～

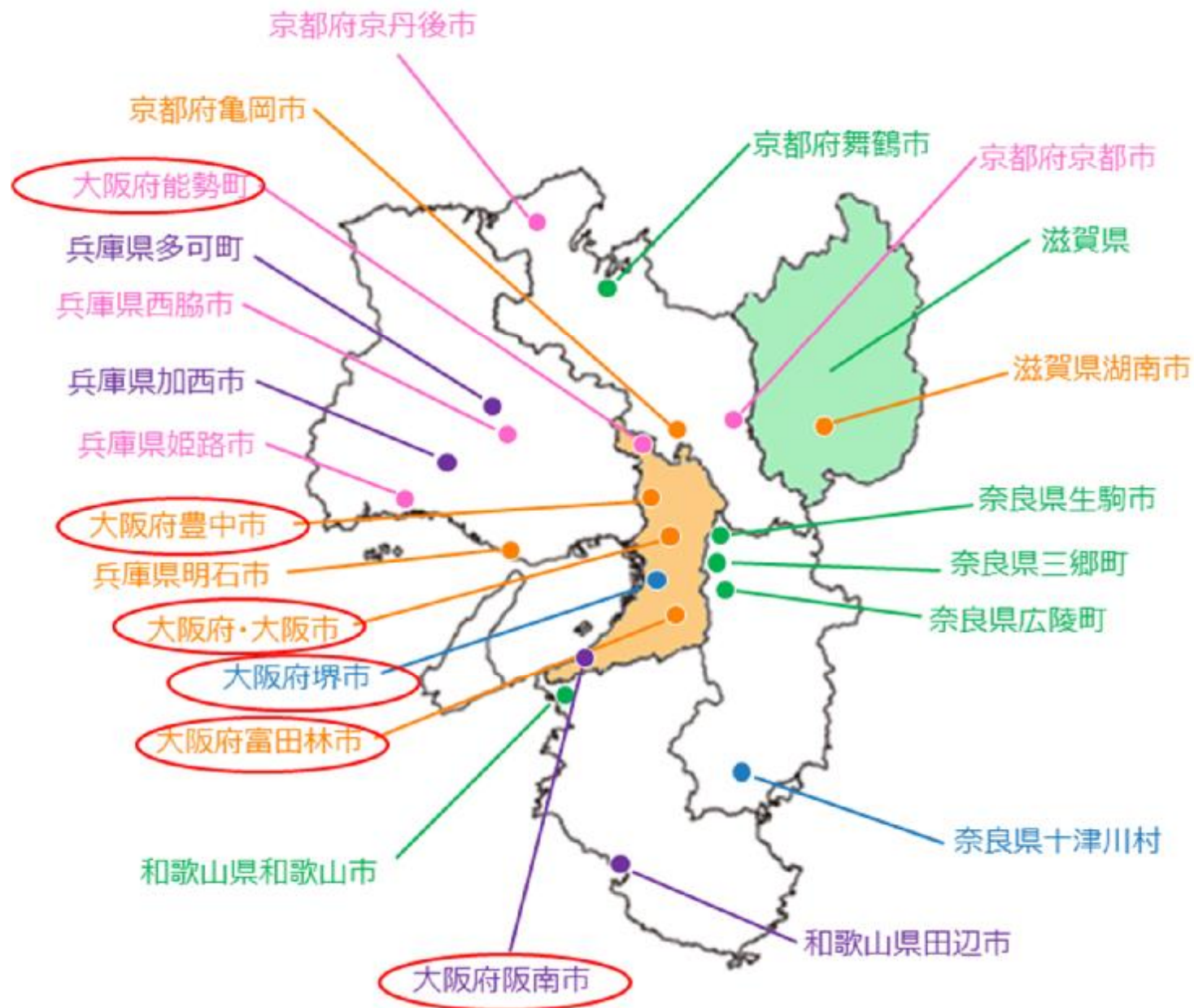


回	開催日	テーマ
第1回	R3/10/28	バイオプラスチック／環境・エネルギー
第2回	R3/11/30	食・地域資源／医療・ヘルスケア
第3回	R4/2/8	働く・学ぶ・共に生きる／暮らし・まちづくり

SDGs 未来都市の選定状況



SDGs 未来都市の選定状況（関西圏の選定都市）



③ みんなで取組もうSDGs

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

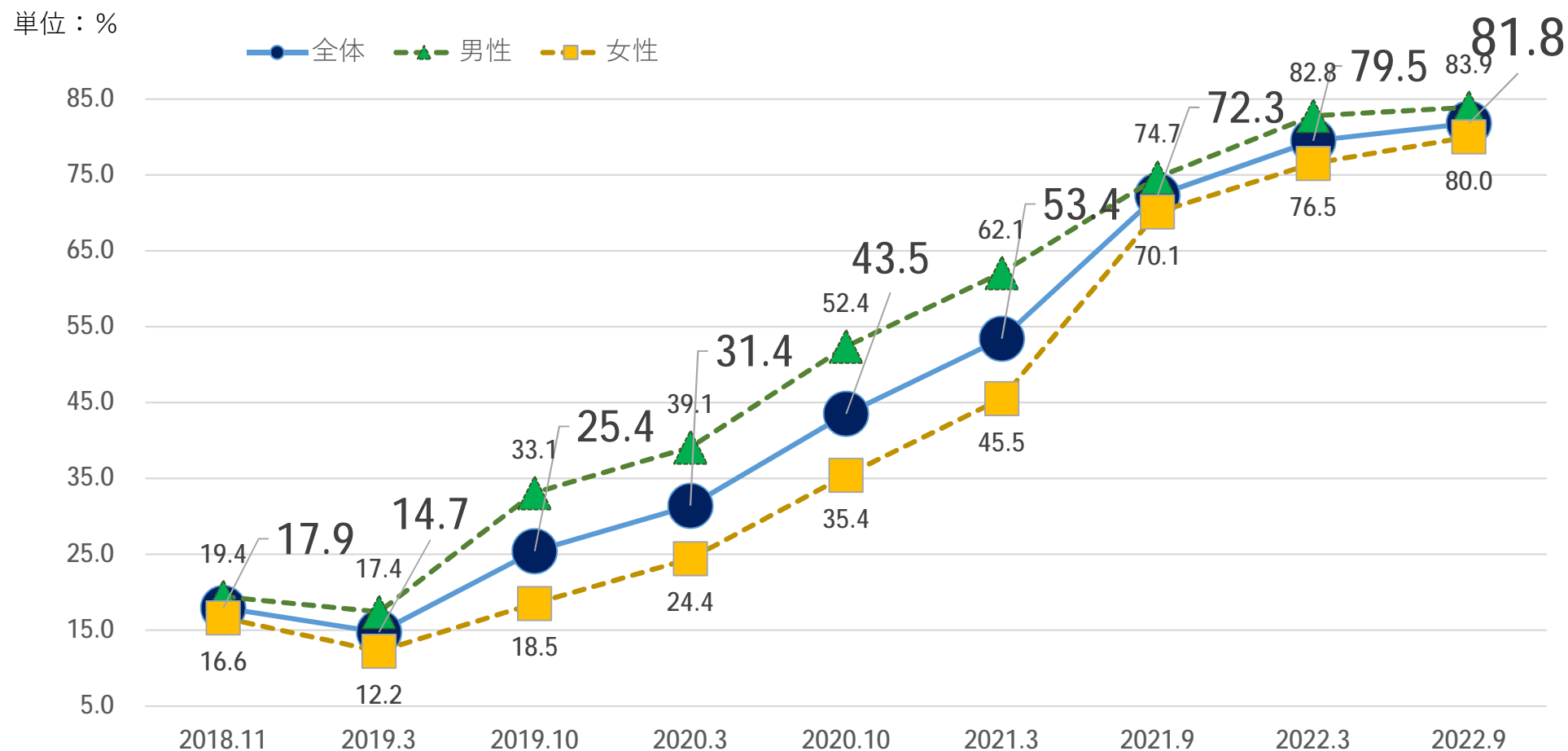
SDGsに関するこれまでの主な経過

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部 設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定 2020年7月 SDGs未来都市及び自治体 SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案) 2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置 2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定 2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェ クト開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置 2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・ SDGsモデル事業の選定開始 2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にて SDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博 開催決定</p>

大阪府の役割

- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**
⇒ **SDGsの更なる浸透**を図り、これまでに**SDGsになじみのなかった新たなステークホルダーの掘り起こし**や具体的な行動につなげる
- ② 様々なステークホルダーの取組みを**SDGs実現に向けて相互につなぎ合わせていく**
⇒ **関西SDGsプラットフォームや国関連機関、経済界、金融機関などと連携し**、それぞれのネットワークを活かしながら、ステークホルダー間の**マッチングと新たな取組みの創出**を図る
- ③ **府自らも**ステークホルダーの一員として、**SDGsに貢献**する
⇒ 庁内各部局の**主体的な取組みの更なる充実・強化**を図り、**SDGsとして取り組むからこそできる**施策を幅広く展開していく
- ④ ハード・ソフト両面から**「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**
⇒ 大阪の持続的成長や、府民の豊かさ、安全・安心の実現に向け、**SDGsの理念に沿った社会システムや価値観の变革**を進める

府民全体の認知度は、81.8%（2022年9月時点）

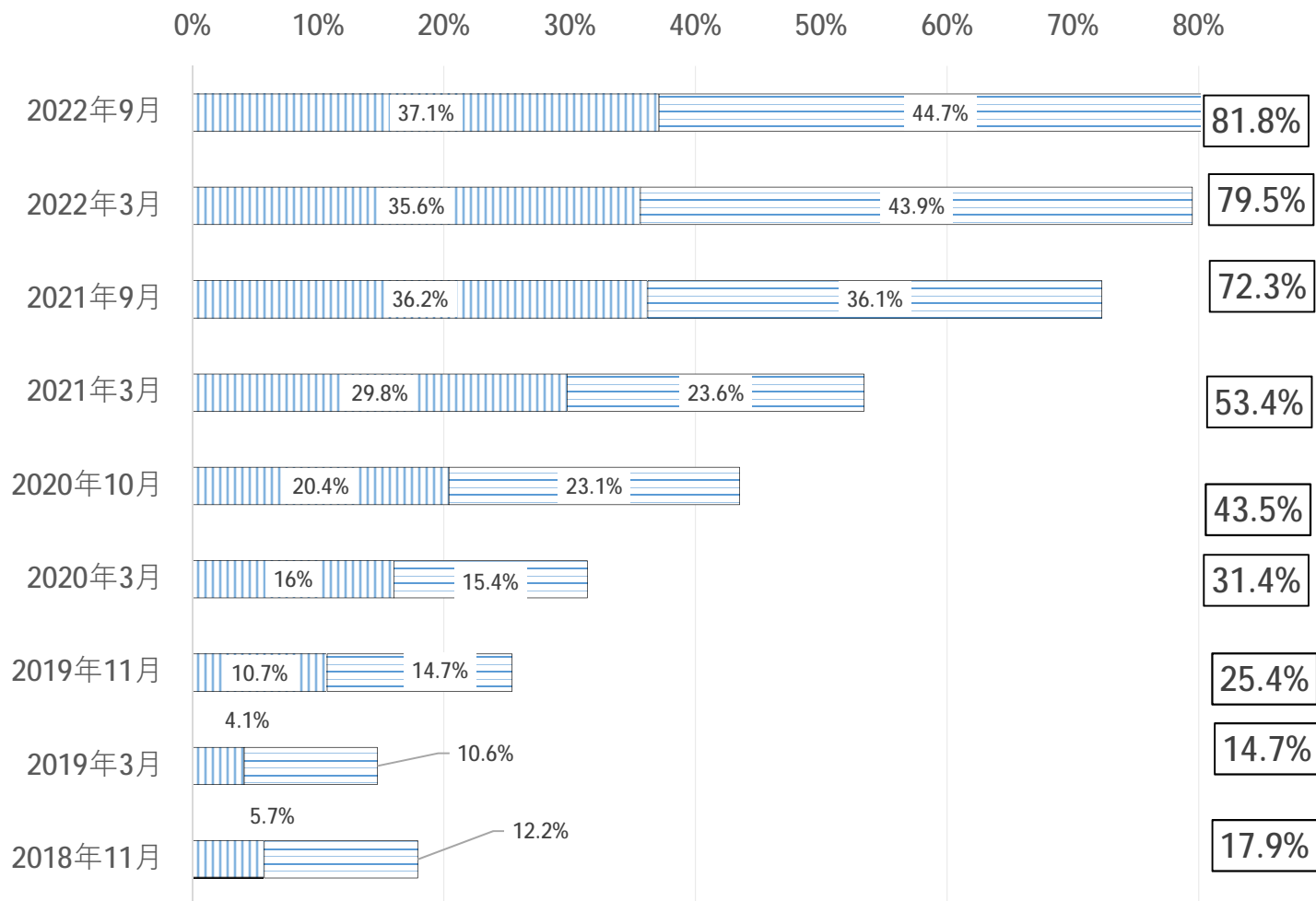


大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

SDGsの認知度（大阪）

○SDGsの認知度の内訳をみると、「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の割合が高い。

■SDGs認知度（全体）



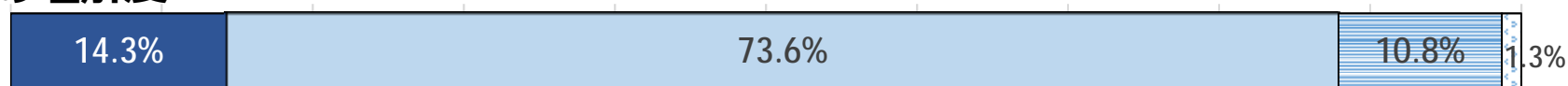
□ SDGsを知っている □ SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある

SDGsの認知度（大阪）

○「SDGsを知っている」と回答した方のうち、「SDGsについて自分なりに理解している」の割合は**73.6%**と最も高い。

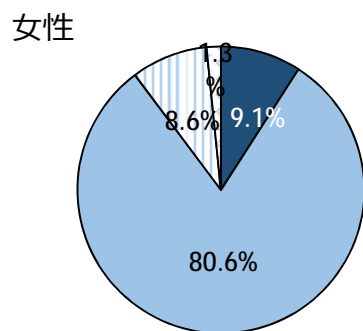
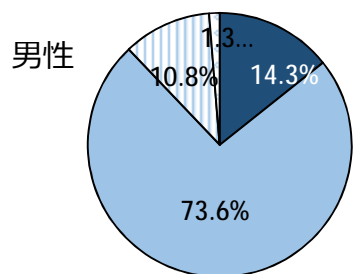
○男女別、年齢別ともに傾向の差は見受けられない。

■SDGsの理解度



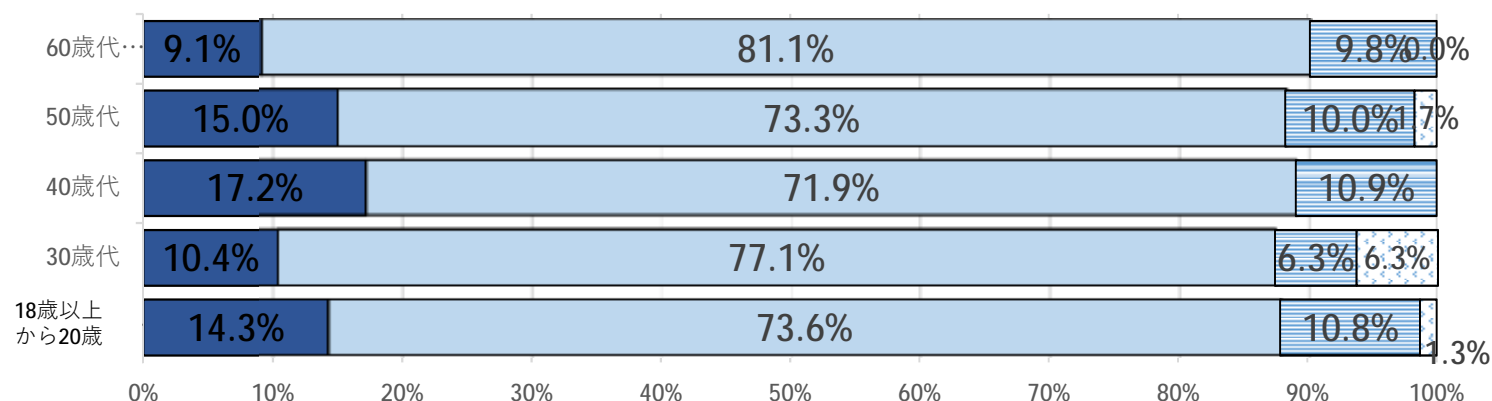
- SDGsについて、家族や知人に教えることができる程に理解している。
- SDGsについて、自分なりに理解している。

■男女別の理解度



- SDGsについて、家族や知人に教えることができる程に理解している。
- SDGsについて、自分なりに理解している。
- 学校や職場、講習などでSDGsについて学んだことがある。
- その他

■年代別の理解度



- SDGsについて、家族や知人に教えることができる程に理解している。
- SDGsについて、自分なりに理解している。
- 学校や職場、講習などでSDGsについて学んだことがある。
- その他



「SDGsウォッシュ」とは？

⇒**SDGs**に取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないことを揶揄する言葉



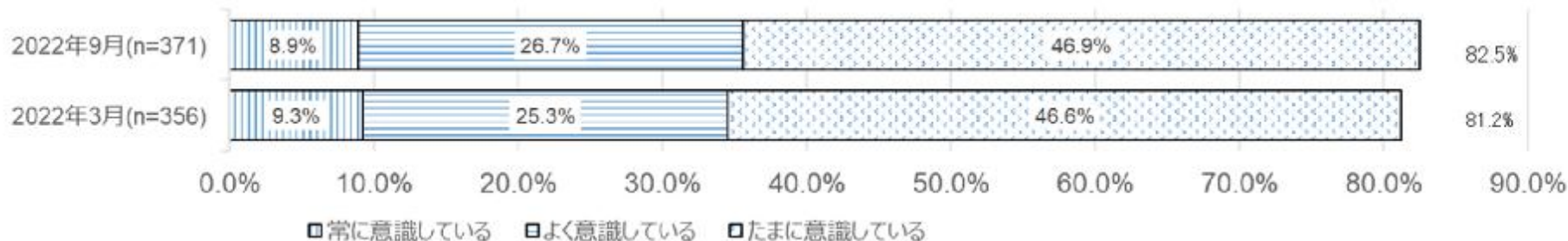
SDGsウォッシュは、「グリーンウォッシュ（あたかも環境にはいりよしているかのようにみせかけること）」が由来とされています

SDGs意識度

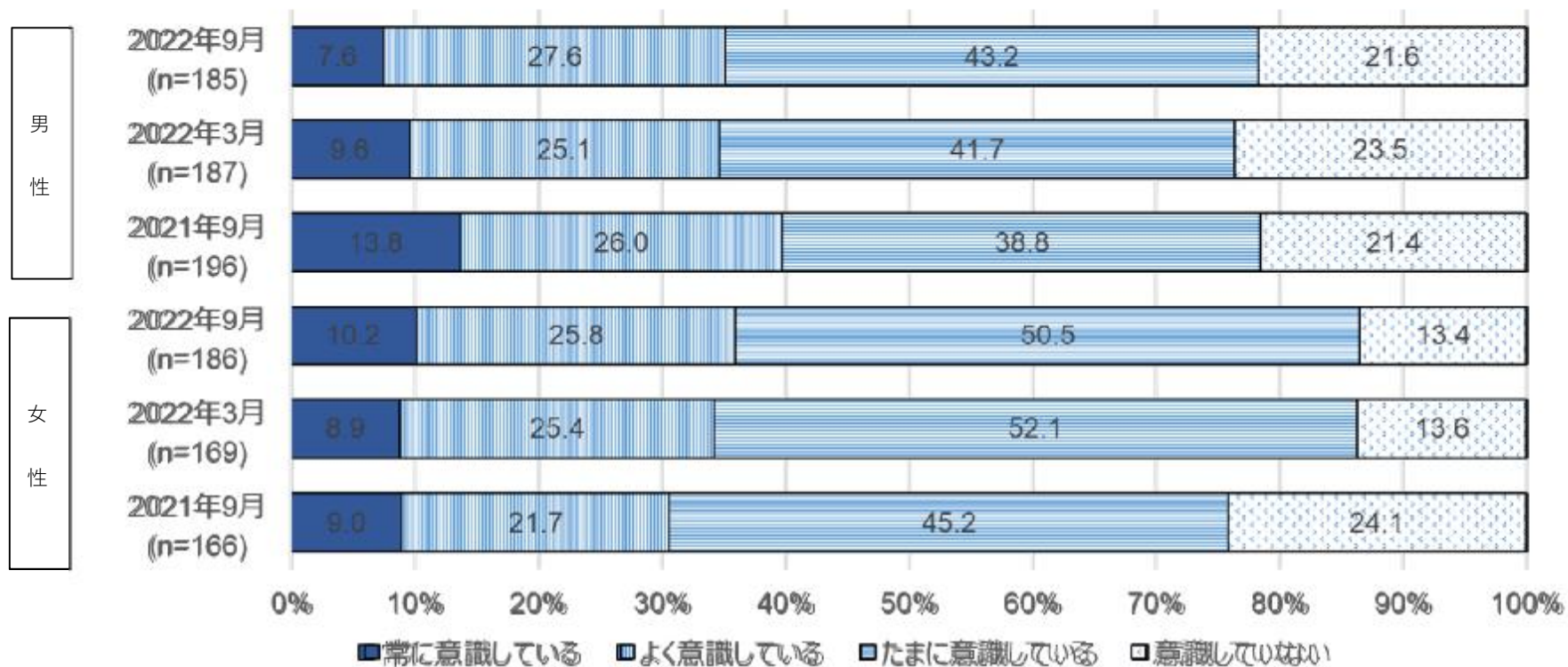
○SDGsを知っている方のうち、「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は、**82.5%**。

○男女別では、女性の意識度が高い傾向にある。

■SDGs意識度（全体）



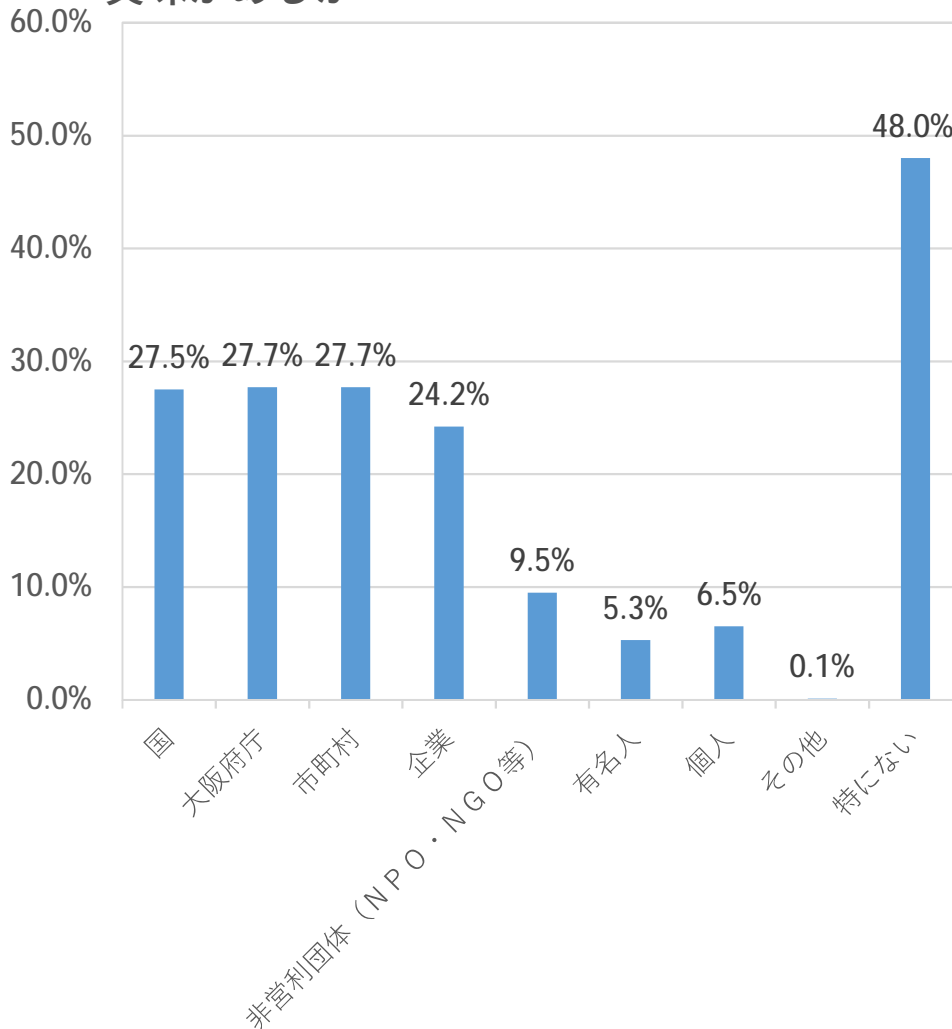
■SDGs意識度（性別）



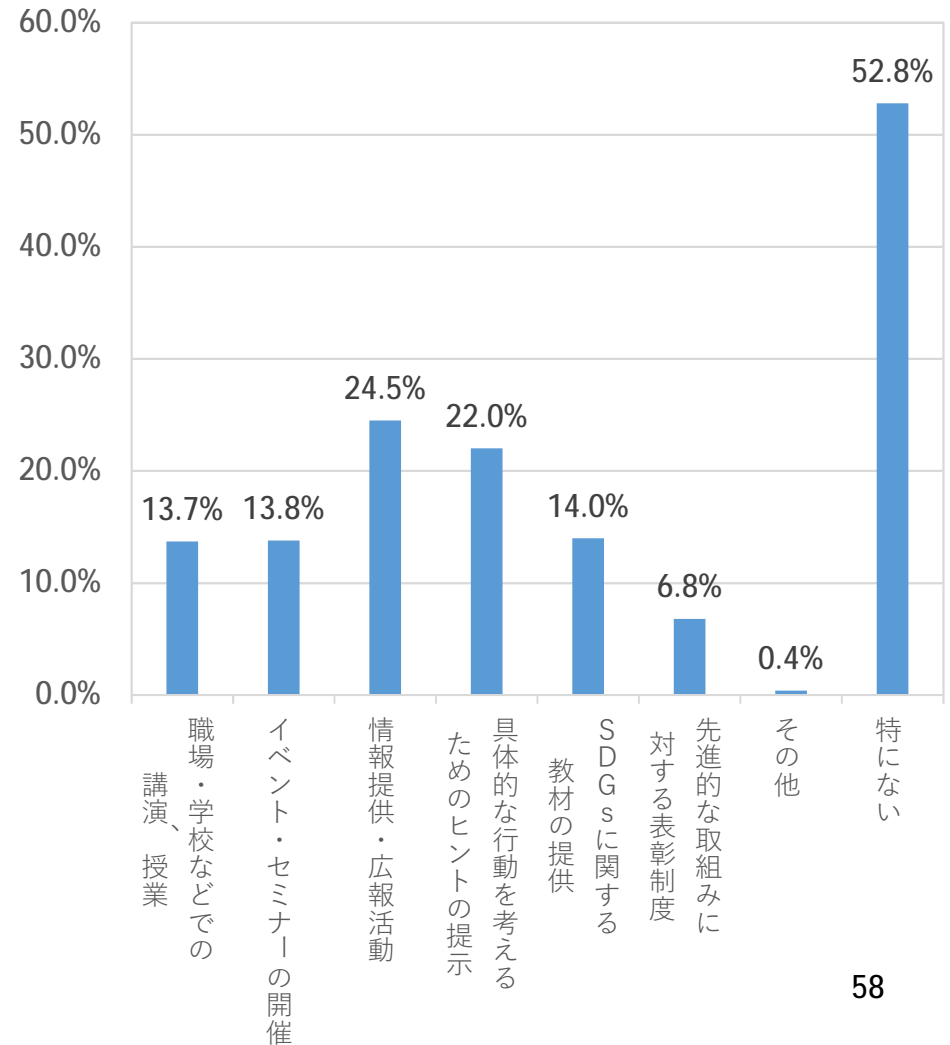
SDGsの取組みについて

- といった団体等が行う取組みについて興味があるかについては、「国」、「市町村」、「大阪府庁」の割合が高い。
- SDGsを広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」の割合が高い。

■ といった団体等が行う取組みについて興味があるか



■ 大阪府に期待する取組み



- ① **SDGs**は世界共通の言語
- ② 経済、社会、環境の統合的解決
- ③ 誰一人取り残さない
- ④ 横串の視点
- ⑤ バックカスティング
- ⑥ ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る



みんなで頑張る



社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（**region**）、国家、地方（**local**）、企業、教育機関、**NPO/NGO**、個人。

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

**ルールを決めた必達目標ではなく、
各主体がめざすべき目標を作る**
👉 個人の身近な取組みも重要！

○大阪SDGs行動憲章の策定（令和3年1月）

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

- ① かけがえのない“いのち”を大切に、地域社会や環境に配慮して行動します。
- ② 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。
- ③ 人と人との出会い、つながりを大事にしながら、互いに学びあい協力して行動します。



○私のSDGs宣言プロジェクト

「大阪SDGs行動憲章」の趣旨に沿って、各ステークホルダーの行動を促すため、**SDGs**を達成に向け自らが行う行動を宣言していただくプロジェクトを開始しました。（2021年（令和3年）2月24日）
宣言いただいた内容は府ホームページ等で紹介することにより、オール大阪で**SDGs**の達成をめざす機運の醸成につなげます。

プロジェクト概要

- <参加対象> 府民、府内企業・団体など
<参加方法> ① 大阪府インターネット申請・申込みサービスの利用
② Twitter
③ 事務局に参加用紙を提出



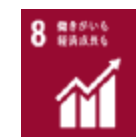
取組み宣言の例



冷蔵庫の中を把握して、
必要な分だけ買い足す



エコバッグやマイボトル、
マイ容器を使う



誰もが働きやすい
職場環境を作る



個人の皆さまから寄せられた“私のSDGs宣言”

食品ロスを減らすため冷蔵庫の中をチェックしてから買い物に行きます。

11 持続可能な都市とコミュニティ



毎日、健康のため運動します。家族と一緒に地域の活動に参加し、地元をみんなで盛り上げる。

3 すべての人に健康と福祉を



11 持続可能な都市とコミュニティ



17 パートナーシップで目標を達成しよう



フェアトレードの商品を買います

1 貧困をなくそう



5 ジェンダー平等を推進しよう



仕事でも家庭でも男女公平を心掛ける

多様性を受け入れ、いつでも誰とでも、最高の職場環境を創る。

8 働きがい、経済成長を



16 公正な社会をすべての人に



避難場所の確認や非常食の準備をして、被害を最小限に抑える行動をします

13 気候変動に具体的な対策を



釣り糸をひろう

14 海の豊かさを守ろう



各ゴールは“私のSDGs宣言”にあわせ、めざすゴールとして記載されたものを掲載しています。



ぜん わ
全5話

かいよう もんだい なに
海洋プラスチックごみ問題って何…？

おおさかわん い もの す
大阪湾にはどんな生き物が住んでいるの…？！

おおさかわん えいぞう たの まな どうが
大阪湾の映像やクイズもあって楽しく学べる動画です！

ぜひ、見てみてね♪

QRコードからチェック！

または

大阪府 ハッピー・オオサカ・ベイベース

検索



ハッピー オオサカ ベイベース

私のSDGs宣言プロジェクト



『私のSDGs宣言プロジェクト』とは、府民や府内企業・団体などあらゆるステークホルダーにSDGsを知ってもらい、具体的な行動につなげるために策定した「大阪SDGs行動憲章」の趣旨に沿って、皆さんにも自らが行うSDGsの達成に向けた行動を宣言していただくプロジェクトです。
寄せられた宣言は、大阪府ホームページ等で広く府民に紹介することにより、オール大阪でSDGsの達成をめざす機運の醸成につなげていきます。
SDGの達成に向け、奮ってご参加ください！



大阪府

【愛称・ニックネーム】

※大阪府ホームページに公表しますので、本名を記載される場合はご注意ください。

【私のSDGs宣言】 ※宣言する取組みの内容（140文字まで）を入力ください。

【関連するゴール】 ※宣言内容に関連するゴールを入力ください。例）ゴール1、ゴール3

みんなで宣言して
活動の輪を広げてよう！



①愛称・ニックネームを
ご入力ください
(空白でも構いません)

②SDGs宣言を入力ください
(個人としてでも、従業員としてでもどちらでも構いません)

③記載したSDGs宣言に
関連すると思うゴールを入力ください

個人の皆さまから寄せられた“私のSDGs宣言”②

大阪府ホームページへの掲載に関するお願い

大阪府ホームページの「令和3年度の取組み」ページ。表には、近畿大学、関西大学、全光八原中学校の講義情報が掲載されている。

講義・セミナー等	開催日時、場所、相手方	配布資料等
近畿大学 「関西文化の情報発信」 講義	日時：令和3年4月8日（木曜日） 15時00分から16時30分まで 相手方：近畿大学国際学部（3・4年生）	SDGsと大賞 PPT [その他のファイル/8.82MB] PDF [PDFファイル/5.39MB]
関西大学 講義	日時：令和3年4月20日（火曜日） 15時00分から17時30分まで ※ウェブ講義 校：社会学部国際学舎	SDGsと大賞 PPT [その他のファイル/8.52MB] PDF [PDFファイル/4.02MB]
全光八原中学校 講義	日時：令和3年4月21日（水曜日） 15時10分まで ※ウェブ講義 相手方：3年生	SDGsと大賞 PPT [その他のファイル/7.43MB] PDF [PDFファイル/3.84MB]

本日の講義を掲載いたします。

大阪府ホームページの「個人の皆さまのSDGs宣言」ページ。SDGsのアイコンと「みんなで宣言して 活動の輪を広げよう!」というメッセージが掲載されている。

～中略～

大阪府内に拠点のある企業・団体の従業員等の皆さんから宣言をいただきました！

大同生命保険株式会社 大阪東支社

大同生命保険株式会社、大阪東支社の皆様から「私のSDGs宣言」をいただきました。

DJIDO 大同生命
おかげさまで110周年

皆様のSDGs宣言を掲載します

(参考) 企業や団体から寄せられた“私のSDGs宣言”

か行 (宣言の到着順に紹介しています。)

株式会社カスタマーリレーション テレマーケティング

未来を担う若い従業員が多い当社では、健康経営・女性活躍推進プロジェクトなどを行い、多種多様な働き方をサポートして参ります。
一人ひとりが主役となれるSDGsは、会社の取り組みを通して「従業員にとっても当たり前を意識する」仕組みを構築します。

[SDGsに関するHPはこちら](#)

[ホームページ](#)

葛城煙火株式会社

2018年からカンボジアで花火を打ち上げています。日本で火薬の平和利用として花火が生まれたように、内戦が続いていたカンボジアで花火を打ち上げることにより、カンボジアの人たちに火薬＝戦争ではなく、火薬＝花火となるように活動しています。同時に化学の勉強と技術も伝えています。

[ホームページ](#)

株式会社関西みらい銀行

関西みらいフィナンシャルグループは、2030年のSDGs達成に向け、金融サービスの提供を通じた活力あふれる地域社会を実現していくために、「2030年 SDGs達成に向けたコミットメント(関西みらい Sustainability Challenge 2030)」を公表しています。

[SDGsに関するHPはこちら](#)

[ホームページ](#)

くら寿司株式会社

・子や孫の代まで日本の魚を食べられる未来のため、漁業者様との共存共栄や持続可能な漁業の発展を図るとともに、海の資源を無駄なく有効活用する「漁業創生の取り組み」
・ICTや当社独自の「抗菌寿司カバー」を活用し、必要な商品の種類や量をコントロールすることで廃棄ロスを削減

[SDGsに関するHPはこちら](#)

[ホームページ](#)

株式会社クレッシエントゥアーズ

SDGs 目標4の『質の高い教育をみんなに』の4-7『グローバルシチズンシップ』に着目し、自らが参加することで社会を変えることができ、自らの力で世界をよりよくするといった考えを持てるようプログラムを通して、違う価値観を持った人々と協働し自ら問題解決にのぞめるような取組を行ないます。

[SDGsに関するHPはこちら](#)

[ホームページ](#)

生活協同組合コープこうべ 大阪北地区本部

- 1.フードドライブ常設店舗の設置
- 2.プラスチック削減の取り組み強化
- 3.牧里活動
- 4.コープでんき など

[SDGsに関するHPはこちら](#)

[ホームページ](#)

花王グループカスタマーマーケティング 株式会社 近畿支社

花王は生活者の持続可能なライフスタイルを送りたい思いや行動に応える事を目指します。生活者が求める暮らしをKirei Lifestyleと呼び実現に向けてビジョン、コミットメント、

株式会社キーマン

株式会社キーマンは、新しいものは建てない建設業として、耐震補強を含めた再生技術で古い建造物の長寿命化を図り、そして、建造物の持つ機能を向上

株式会社関西ぼど

地域の皆様へ身近な情報をお届けするメディアとして、SDGsに関する情報を継続的に発信し、取り組みが自分事となるきっかけづくりを進めます。さらに、行

ご清聴ありがとうございました。

